

工事名称：各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）

図面番号	図面名称	縮 尺	
		A1	A3
01	表紙・図面リスト	S=N.S	S=N.S
02	改修特記仕様書(その1)	S=N.S	S=N.S
03	改修特記仕様書(その2)	S=N.S	S=N.S
04	改修特記仕様書(その3)	S=N.S	S=N.S
05	改修特記仕様書(その4)	S=N.S	S=N.S
06	電気設備特記仕様書(その1)	S=N.S	S=N.S
07	電気設備特記仕様書(その2)	S=N.S	S=N.S
08	電気設備特記仕様書(その3)	S=N.S	S=N.S
09	案内図・配置図	S=1/300	S=1/600
10	1階平面図(改修前)	S=1/100	S=1/200
11	1階平面図(改修後)	S=1/100	S=1/200
12	2階平面図(改修前・改修後)	S=1/100	S=1/200
13	平面図・仕上表・展開図・建具表1(改修前・改修後)(仮眠室)	S=1/30、50	S=1/60、100
14	カプセルベット廻り詳細図(改修前・改修後)(仮眠室)	S=1/10	S=1/20
15	平面図・仕上表・展開図2(改修前・改修後)(仮眠室)	S=1/30	S=1/60
16	カプセルベット詳細図(Aタイプ)	S=1/1、20	S=1/2、40
17	電気設備図1(改修前・改修後)	S=1/30	S=1/60
18	電気設備図2(改修前・改修後)	S=1/30	S=1/60
19	自動火災報知設備 1階平面図(改修後)	S=1/100	S=1/200
20	自動火災報知設備 2階平面図(改修後)	S=1/100	S=1/200
21	仮設計画図(参考)	S=1/200、300	S=1/400、600



項目		特記事項	
2	① 監理事務所	・ 設ける ◎ 設けない (2.4.1) 監理事務所の規模 備品 ( ) ・ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ 35㎡程度 ・ 65㎡程度 ・ 100㎡程度	
	仮設		
	② 工事用水	構内既存の施設 ◎ 利用できない ○ 利用できる ( ◎ 有償 ・ 無償 )	
	③ 工事用電力	構内既存の施設 ◎ 利用できない ○ 利用できる ( ◎ 有償 ・ 無償 )	
4	④ 足場その他	内部足場 ・ 設置する ( ◎ 脚立、足場板等 ・ ) ・ 設置しない 外部足場 ・ 設置する ・ 設置しない 手すり先行足場 (2.2.1) ◎ 適用する ・ 適用しない 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「融きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業時及び使用時には、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。なお、これにより難い場合は監督職員と協議すること。	
		防護シートによる養生 ◎ 行う ・ 行わない 材料、撤去材等の運搬 ・ A種 ◎ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種	
	⑤ 養生	既存部分の養生 ◎ ビニールシート等 ・ 合板等 (2.3.1) 既存家具等の養生 ◎ ビニールシート等 固定家具等の移動 ◎ 行わない ・ 行う (図示)	
	6 仮設間仕切	仮設間仕切り等の種別 (2.3.2)	
		種類 下地 仕上材 (厚さmm) 充填材 (厚さmm) 塗装	
		・ A種 ◎ 軽量鉄骨 ・ 合板 (◎9.0 ・ ) ・ グラスウール (mm) ◎ 無し	
		・ B種 ・ 木下地 ◎ せっこうボード (◎9.5 ・ ) ・ 片面	
		◎ C種 単管下地 防火シート	
		仮設扉 ◎ 木製扉 ◎ 合板張り程度	
		◎ 鋼製扉 ・ 片面フラッシュ程度 ◎ 無し ・ 有り	
3	1 アスファルト防水	(3.2.2.3) (表3.1.1) (表3.3.3～10)	
		工法 施工箇所 種別	
		保護 ・ P18 ・ T1B1	
		防 ・ P2A1	
		水 ・ P2A	
		露出 ・ M4C	
		防水 ・ M3D ・ POD	
		露出 防水 断熱 ・ POD1 ・ M3D1 ・ M4D1	
		屋内 防水 ・ PIE ・ P2E	
		(保護層は図示による)	
		アスファルトの種類 ◎3種 (3.2.2) (3.3.2)	
		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ◎改質標準仕表3.3.3から表3.3.9による ・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ◎改質標準仕表3.3.3から表3.3.9による ・ 保護コンクリートのコンクリート種類 ・ (3.3.2) POD工法の改修用ドレン ・ 設けない ・ 設ける (3.2.5) M3D、POD工法の脱気装置 ・ 設けない ・ 設ける (3.3.3) PIE、P2E工法の保護層 ・ 設けない ・ 設ける (3.3.3) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装 (M4C工法の場合) ・ 除去する (3.2.6) 断熱工法の断熱材 材質 ・ (3.3.2) 厚さ (mm) ・ 立上り部の保護 ・ れんがの種類 ◎普通れんが (JISR1250) ・ 乾式保護材の材料 ◎押出成形セメント板厚さ15mm 屋根防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ◎図示 ・ 屋根排水溝 ◎図示 ・ 脱気装置の種類及び設置数量 ◎アスファルトルーフィング類製造所の指定による ・ 脱気装置の種類 ・ 設置数量 個/㎡	
2 改質アスファルトシート防水			
(3.4.2.3) (表3.1.1) (表3.4.1～3)			
工法 施工場所 種別			
・ M4AS工法			
・ M3AS工法			
・ POAS工法			
・ M3AS1工法			
・ M4AS1工法			
・ POAS1工法			
脱気装置の種類及び設置数量 ◎改質アスファルトシート類製造所の指定による ・ 脱気装置の種類 ・ 設置数量 個/㎡			
防護層 ◎設けない ・ 設ける			
改質アスファルトシートの種類及び厚さ ◎改質標準仕表3.4.1から表3.4.3による ・ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ◎改質標準仕表3.4.1から表3.4.3による ・			
3	合成高分子ルーフィングシート防水	(3.5.2～4) (表3.5.1.2)	
		工法 施工場所 種別 仕上げ塗料等 使用分類	
		・ POS工法	
		・ S4S工法	
		・ S3S工法	
		・ M4S工法	
		・ POS1工法	
		・ S3S1工法	
		・ S4S1工法	
		・ M4S1工法	
		脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない (3.5.3) 目地処理 PCコンクリートの場合 ( ) (3.5.4) ルーフィングシートの種類及び厚さ ◎改質標準仕表3.5.1から表3.5.2による ・ 脱気装置の種類及び設置数量 ◎ルーフィングシート製造所の指定による ・ 脱気装置の種類 ・ 設置数量 個/㎡ 断熱工法の断熱材 材質 ・ 厚さ (mm) ・ SI-M1及びSI-M2の場合の防護フィルムの設置 ◎設置する (厚さ0.15mm) ・ 設置しない 屋内防水 防水層の種類	
		種別 施工箇所	
平場の仕上げ塗料等 立上り部の保護			
塗り厚さ ・ 床塗り工法 ・ 下地仕上げ塗り			
・ S-C1 ・ ◎標準15.2.5(b) ◎標準15.2.5(c) (2)及び(3)に準ずる ◎7mm以下			
屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ・ 機械式固定工法の場合 ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法			

項		目		特		記		事		項			
5	①	改修工法の適用	建具改修工事	(5.1.3)									
				建具の種類		かぎせ工法		撤去工法		備考			
				・アルミニウム製建具		-		-					
				・樹脂製建具		-		-					
				・鋼製建具		・内部		-		-			
						・外部		-		-			
				・鋼製軽量建具		-		-		-			
				・ステンレス製建具		-		-		-			
				2 見本の製作等								・特殊な建具の仮組(建具符号: ) (5.1.5)	
				3 防犯建物部品								・適用する( ) (5.1.7)	
4	アルミニウム製建具	外部に面する建具※複層ガラスの引違いの場合は100とする (5.2.1) (表5.2.1)											
		種別		寸見込(mm)		施工箇所							
		・A種		◎ 70		◎ 図示		-					
		・B種		・ 100		◎ 図示		-					
		・C種		100		◎ 図示		-					
		防音ドアセット		・防音ドアサッシ		・適用する		遮音性の等級( )					
		耐震ドアセット		・適用する				面内変形追随性能の等級( )					
		断熱ドアセット		・断熱サッシ[G]		・適用する		断熱性の等級( )					
		表面処理		◎ B-1種		・B-2種(◎ﾌﾞﾗｯｸ系		・ﾌﾞﾗｯｸ		・ｽﾃﾝﾚｽ)			
		屋内建具											
表面処理 ◎ 0-1種又はB-1種 (5.2.4) (表5.2.2)													
心-2種又はB-2種(◎ﾌﾞﾗｯｸ系													
・ﾌﾞﾗｯｸ													
・ｽﾃﾝﾚｽ)													
結露水の処理方法 ・図示													
公共住宅のアルミサッシの品質及び性能													
・品質・性能基準による													
5	網戸	防虫網 (5.2.3)											
		網の種類		◎合成樹脂製		・ガラス繊維入り合成樹脂製		◎ステンレス製(SUS316)					
		形式		◎外部可動式		・固定式							
		6 樹脂製建具											
		性能等級 (5.3.2～5)											
		外部に面する建具											
		・A種(建具符号: ・建具表による											
		・B種(建具符号: ・建具表による											
		・C種(建具符号: ・建具表による											
		防音ドアセット ・防音ドアサッシ ・適用する 遮音性の等級(・T-1・T-2)											
断熱ドアセット ・断熱サッシ[G] ・適用する													
枠の見込み寸法 ・建具表による													
表面色 ◎標準色 ・特注色													
水切り板、ぜんば ◎図示													
ガラス													
断熱性の等級(・H-4・H-5・H-6)													
7	鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (5.2.2) (5.4.2～4) (表5.4.2)											
		耐風圧性の適用は建具表による											
		特定防火設備の戸 ・適用する											
		鋼板 (5.4.3)											
		材料		めっき付着量									
		・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)		◎Z12又はF12									
		・JIS G 3317(溶融亜鉛-5%Zn-Ni合金)		◎Y08									
		めっき合板)											
		公共住宅の玄関ドアの品質及び性能											
		・品質・性能基準による											
公共住宅のバイブシャフトドアの品質及び性能													
・品質・性能基準による													
8	鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (5.2.2) (5.5.2～4)											
		製造所 評価名簿による											
		公共住宅のクロゼットドアの品質及び性能											
		・品質・性能基準による											
		9 ステンレス製建具											
		簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2～4)											
		耐風圧性の適用は建具表による											
		施工箇所		鋼材の種類									
		屋外		◎SUS304,SUS430J1L,SUS443J1									
		屋内		◎SUS304,SUS430J1L,SUS443J1									
表面仕上げ		◎HL仕上げ		・鏡面仕上げ		・							
曲げ加工		◎普通曲げ		・角出し曲げ(補強有り)		・							
特定防火設備の戸		・適用する		・									
10	自動ドア開閉装置	◎製造所標準製作規定寸法許容差による (5.8.2.3) (表5.8.1～3)											
		開閉方法		センサの種類									
		◎スライディングドア		・マットスイッチ		・音波スイッチ		・					
		・スイングドア		◎光線スイッチ		・光電スイッチ		・					
				・熱線スイッチ		・多機能トイレスイッチ		・					
		・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)											
		製造所 評価名簿による											
		11 自閉式上り引下り装置											
		品質規格 ◎改修標準5.9.1による (5.9.3) (表5.9.1)											
		・製造所標準仕様による											
製造所 評価名簿による													
12	木製建具	フラッシュ戸 (横仕16.7.2)											
		合板の種類		規格等						備考			
		・普通合板		表面の材種									
				生地・透明塗料塗り		◎ﾌﾗｯｸ程度		・					
				不透明塗料塗り		◎しな程度		・					
				板面の品質		・広葉樹(◎I等)		・					
						・針葉樹(◎C-0以上)		・					
		・天然木		化粧合板		樹種名( )							
		・特殊加工		化粧合板		加工方法		・ｵｰﾈｰﾚｲ		・ﾌﾞﾘｯﾄﾞ			
						表面性能( )タイプ		・塗装					
防虫処理		・行う		・行わない		接着剤の種類		・1類 ・2類					
表面板の厚さ		◎横仕16.7.6		・									
建具材の含水率		・A種		◎B種		・C種		(表16.7.1)					
かま戸の樹種		◎新島		の樹種		(挿入等の裏面は除く)		(横仕16.7.2)					
ふすまの上張り		かまの子又はビニル紙程度		・		(横仕16.7.3)							
		・鳥の子											
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量													
◎既製対象外 ・第三种 (横仕16.7.2)													
公共住宅の内装ドアの品質及び性能													
・品質・性能基準による													
公共住宅の畳産ふすまの品質及び性能													
・品質・性能基準による													
13	建具用金物	マスターキー ◎製作する ・製作しない (5.7.4)											
		建具用金物 (5.7.2.3) (表5.7.1～3)											
		錠類はシンダー箱錠(レバーハンドル)とする											
		なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承認を受ける											
		吊金物											
		・下番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)											
		・ピボットヒンジ											
		◎ステンレス製(軸は鋼製 外部用は軸も含めてステンレス製)											

14	ガラス	公共住宅の各住戸修繕用金物 各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前の品質及び性能 ・品質・性能基準による 各住戸玄関扉用及び内装扉用ドアクローズの品質及び性能 ・品質・性能基準による 窓ストッパーの使用 ・可 ・不可 玄関扉用「7A0-9」 ◎A型 ・B型 ◎C型 ・D型 色彩 ◎シルバー 内装扉用「7A0-9」 ・使用する(◎E型 色彩 ◎シルバー ・ブロンズ) ◎使用しない 内装扉用戸当 材質 ◎ステンレス 金属製建具用丁番 材質 ◎ステンレス 木製建具用丁番 形状、寸法 ( 材質 ◎ステンレス 形状、寸法 ◎102×2.0	(公仕16.8.2.4)		
		◎建具表による ・ガラスブロック		(5.13.2～5)	
		寸法 (mm)	色調	パターン	防火認定
		◎クリア ・乳白	・熱線反射 ・カラー ( )		◎無し ・有り
		工法 ・建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法			
		ガラス留め材 (5.13.2) (表5.13.1)			
		建具の種類	材種		
		アルミニウム製	◎シーリング ・ガasket (FIX部はシーリング)		
		鋼製及び鋼製軽量	◎シーリング		
		ステンレス製	◎シーリング		
防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。 板ガラスをはめ込む溝の大きさ 改修標準5.13.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築学会JASS17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。					
16	ガラス用フィルム	名称 種類 張り面 性能値 ◎ガラス用飛散フィルム 第2種 ◎内張り ・外張り 飛散防止率 D1 品質 JIS A 5759による			
17	重量シャッター	(5.10.2.3) (表5.10.1)			
シャッターの種類 耐風圧強度					
・管用シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>					
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>					
・屋内用防火シャッター					
・屋内用防煙シャッター					
開閉機能					
◎上部電動式(手動併用) ・上部手動式 (5.10.2)					
危害防止機構 ◎障害物感知装置(自動閉鎖型) (5.10.2)					
管用シャッターのシャッターケース ◎設ける ・設けない					
スラット及びシャッターケース用鋼板					
鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)					
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)					
めっきの付着量 ◎Z12又はF12					
18	軽量シャッター	(5.11.2) (表5.11.1)			
開閉形式 ◎手動式 ・上部電動式(手動併用)					
スラット 材質 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼等) (5.11.3)					
めっき付着量 ◎Z06又はF06 ( )					
・JIS G 3322(塗装溶融-55%アルミニウム合金めっき鋼板)					
めっき付着量 ◎AZ90 ( )					
形状 ◎インターロッキング形 (5.11.4)					
・オーバールッピング形					
19	オーバーヘッドドア	ガイドレール等 ◎鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) (表5.11.2)			
(5.12.2～4) (表5.12.1.2)					
セクション材 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質					
◎ステールタイプ ◎バランス式 ・スタンダード形 ◎溶融亜鉛めっき鋼板					
・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板					
・ファイバークラスタイプ ・電動式 ・ハイリフト形 (SUS304)					
・バーチカル形					
耐風圧性能 ( ) Pa					
6	①改築範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲 (6.1.3)			
内装改修工事	◎壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う				
	・図示の範囲				
	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲				
	◎壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う				
	・図示の範囲				
	天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修				
	◎既存のまま				
	・図示の範囲				
	②既存床の撤去並びに下地補修	ビニル床シート等の除去 ◎仕上げ材のみ(接着剤とも) (6.2.2)			
	・下地モルタルとも(◎図示の範囲 ・除去範囲の全て)				
合成樹脂塗塗り床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒工法					
改修後の床の清掃範囲 ◎改修箇所の室内					
③既存壁の撤去並びに下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 (6.3.2) (4.4.9)				
◎図示					
・モルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補強 ◎行う ・行わない)					
④木下地	木材の品質 (6.5.2) (表6.5.2～3)				
◎改修標準表6.5.2による ・市販品					
樹種 ◎改修標準表6.5.4による (6.5.2) (表6.5.4)					
・代用樹種を適用する箇所 ( )					
保存処理木材を適用する箇所 ( )					
表面仕上げの種類 適用箇所					
・A種					
◎B種					
・C種					
5	造作用集成材[G]	ホルムアルデヒド放散量 ◎規制対象外 ・第三種 (6.5.2)			
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材					
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の等級 関係材等の適用					
◎1等 ・2等 -					
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材					
施工箇所 化粧層板の種類 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧層板の厚さ(mm) 見付け材面の等級 関係材等の適用					
◎1等・2等 -					
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材					
施工箇所 化粧層板の種類 芯材の樹種 寸法(自由) 化粧層板の厚さ(mm) 関係材等の適用					
-					
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材					
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 関係材等の適用					
◎15%以下 -					
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材					
施工箇所 化粧層板の種類 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧層板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 関係材等の適用					
◎15%以下 -					
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材					
施工箇所 化粧層板の種類 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧層板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 関係材等の適用					
◎15%以下 -					

6

内装改修工事

29

フリーアクセスフロア

(標準20.2.2)

施工箇所	構造	設定高さ (mm)	適用地盤 時水平力	耐荷重性能 (N/㎡)	表面仕上げ材
	・ パネル構法	・	・ 1.0G	・ 3,000	・ 帯電防止ビニル床タイル
	・ 溝工法	・	・ 0.6G	・ 5,000	・ タイルカーペット
	・ パネル構法	・	・ 1.0G	・ 3,000	・ 帯電防止ビニル床タイル
	・ 溝工法	・	・ 0.6G	・ 5,000	・ タイルカーペット
	・ パネル構法	・	・ 1.0G	・ 3,000	・ 帯電防止ビニル床タイル
	・ 溝工法	・	・ 0.6G	・ 5,000	・ タイルカーペット

表面仕上げ材の品質・規格等は、標準19章内装工事による  
記線用取出しパネル 配線取出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1カ所以上

フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ② 20～30%  
空調用吹き出しパネル ③ 無し  
・ 有り (④ 固定式 ・ 可変式：施工箇所は図示)

30

可動間仕切

(標準20.2.3)

構造形式	パネル部の 総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・ スタッド式	・	・ 鋼板 (④ 0.6・0.8)	④ メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け	・ (あり)・なし	・ (あり)・なし
・ スタッドパネル式	・	・	・	・	・
④ パネル式	・	・	・	・	・

品質JIS A 6512によるもの又は評価名簿による

31

移動間仕切

(標準20.2.4)

遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・ 一般タイプ	・	・ 鋼板	・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式
・ 遮音タイプ (36db以上)	・	・ 鋼板	・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は14節壁紙張りによる  
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準ずる

32

トイレブース

(標準20.2.5)

表面仕上げ材 ③メラミン樹脂系化粧板 (標準色アルミ製コーナーエッジ付き)  
・ ポリエステル樹脂系化粧板  
・ 特殊UV塗料硬質化粧板

足形状 ③ 幅木型 ・ 足金物型  
製造所 監督職員の承諾する製造所による

33

階段滑り止め

(標準20.2.6)

材種 ③ ステンレス (SUS304)  
形状 ③ ビニルタイヤ入り  
両端フラットエンド ④ 有り (⑤ ビニル製 ・ ステンレス製) ・ 無し

幅 (mm) 約35  
取付工法 ④ 接着工法 ・ 埋込み工法

34

階段手すり

種別	施工箇所
③ 集成材クアラッカー仕上げ (市販品 径：約40mm)	
・ ビニル製ハンドレール (幅：約40mm)	

35

黒板及びホワイトボード

(標準20.2.8)

種類	寸法	色彩	備考
・ 黒板	④ 焼付け	④ 緑・黒	④ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分
		④ 緑・黒	④ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分
・ ホワイトボード	④ ほうろう	④ 白	④ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分
		④ 白	④ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分

36

表示

衝突防止表示 ④ 図示 (市販品 ステンレス製 径約：30mm) (標準20.2.10)  
( ・ 両面 ・ 片面 )  
・ 無し

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。  
表示標識は図示による。ただし、案内図記号はJIS Z 8210による。  
製造所：監督職員の承諾する製造所

37

ブラインド

・ 既存再使用する (養生方法： ) (2.3.1) (5.1.6)  
・ 新設する (標準20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
④ 横型	④ 折り式 ・ コード式 ・ 操作棒式	④ アルミニウム合金製	④ 25 ・ 35
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100

38

ロールスクリーン

防火性能 ④ 有り  
製造所 性能の確認のできる資料を監督職員に提出する (標準20.2.13)

施工箇所	装置		性能 (防火性能)	備考
	電動	手引		

39

カーテン

・ 既存再使用する (養生方法： ) (2.3.1) (5.1.6)  
・ 新設する (標準20.2.14)

施工箇所	形式		閉鎖装置		ひだの種類	品質等
	片引	引分	電動	手引		

40

カーテンレール

・ 既存再使用する (5.1.6)  
・ 新設する

材種 ④ アルミニウム製 ・ ステンレス製 (標準20.2.14)  
形式 ・ 片引き ・ 引分け (暗幕用は300mm以上の召合わせの重掛けとする)

41

ブラインドボックス及びカーテンボックス

・ 既存再使用する (5.1.6)  
・ 新設する

・ 市販品 (アルミニウム製 押出し型材)  
溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ④ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80  
色彩 ④ B-1 ・ B-2 ④ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)  
・ 図示

42

天井点検口

材質 アルミニウム製 (④ 縁鉄タイプ ・ 目地タイプ)

43

床点検口

材質 アルミニウム製 (受け枠 ④ アルミ製 ・ ステンレス製)

44

くつみきマット

市販品 材質 ・ 塩化ビニル製 (コイル状ステンレス製受枠)  
・ 硬質アルミニウム製 (受枠とも)  
・ ビニル製 (ステンレス製受枠)  
・ ステンレス製 (受枠とも)

45浴室ユニット

46キッチンキャビネット

47郵便受箱

48手すりユニット

49補助手すり

公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による・）  
種類、形状、寸法（内法）、材質（（公仕仕20.2.15）

公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による・）  
種類 ◎キッチンキャビネット（◎Ⅰ型・Ⅱ型）・システムキッチン（公仕仕20.2.16）  
流し台、調理台、コンロ台、吊り戸棚等の形状、寸法 ◎設計図による・  
カウンタートップ及びシンクの材質 ◎ステンレス・  
付属部品 ◎水切り棚・

公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による・）  
種類・模型 ◎模型 寸法（×）（公仕仕20.2.17）  
個数（）個 材質 ◎ステンレス・

公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による・）（公仕仕20.2.18）

公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による・）（公仕仕20.2.19）

名称	種類	材質	形状	寸法	支柱間隔、高さ等	支持方法
堅 落 防 止 手 す り	廊下用	75mm スチール	手すり子 目隠しハネ	設計図による	・	床支持 壁支持
		ステンレス	・			方立て支持
	窓用	75mm スチール	手すり子 目隠しハネ	設計図による	・	床支持 壁支持
		ステンレス	・			方立て支持 壁支持

公共住宅の品質及び性能（・品質・性能基準による・）（公仕仕20.2.19）

名称	材質	形状	寸法	設置場所
◎廊下階段手すり	◎合成樹脂被覆75mm手すり			
◎補助手すり	◎集成材75mm塗り			

7①材料

②下地調整

3さび止め塗料塗り

4塗装塗り

屋内の壁・天井仕上げ材は防火材料とする。  
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量  
◎規制対象外・第三種

(7.2.2～7) (表7.2.1～7.2)

下地面の種類	下地調整の種別	備考
木部	・RA種◎RB種・RC種	
鉄鋼面	・RA種◎RB種・RC種	
垂れめっき面	・RA種◎RB種	
垂れめっき面（鋼製建具）	◎RB種・RC種	
モルタル、プラスター面	・RA種◎RB種・RC種	
コンクリート、ALCパネル面	・RA種◎RB種・RC種	
せつこうボード、その他のボード面	・RA種◎RB種・RC種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の修繕  
◎行わない・行う（修補範囲及び修補方法は図示）

(表7.2.4～6)

(7.3.2.3)

下地面等		塗料	工程	
鉄鋼面	SOP 仕上塗装無し	塗替え 新規鉄鋼面見え出し 新規見え隠れ	A種 A種	◎C種・ ◎A種・
		塗替え 新規鉄鋼面見え出し 新規見え隠れ	A種 B種	◎B種・ ◎C種・
	EP-G	塗替え 新規鉄鋼面見え出し 新規見え隠れ	B種 B種	◎A種・ ◎B種・
		SOP 仕上塗装無し	塗替え 新規鉄鋼面見え出し 新規見え隠れ	◎A種・ ◎A種・
垂れめっき面	EP-G	塗替え 新規鉄鋼面見え出し 新規見え隠れ	C種 C種	◎C種・ ◎A種・

(7.4.2～15.2) (表7.4.1～7.15.1)

塗料の種類	塗装面	工程	
		塗り替え	新規
◎合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）  塗料の種類 ◎1種・2種  ◎フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）  ◎アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）  ◎耐候性塗料塗り（DP）  ◎垂れめっき鋼面 -1級（フッ素樹脂塗料） 2級（77リリリコン樹脂塗料） 3級（77リリリコン樹脂塗料）  コンクリート面 -A-1種・A-2種 B-1種・B-2種 C-1種・C-2種  押出成形セメント板面 -A-1種・A-2種 B-1種・B-2種 C-1種・C-2種	木部（外部） 木部（内部） 鉄鋼面 垂れめっき鋼面 鋼製建具	◎B種 ◎B種 ◎B種 ◎B種 ◎A種	◎A種 ◎B種 ・A種 ◎B種 ◎B種 ◎B種
	屋内部 鉄鋼面 垂れめっき鋼面	◎B種 ◎B種 ◎B種	◎A種 ◎B種 ◎B種
	屋内部 鉄鋼面 垂れめっき鋼面	◎B種 ◎B種 ◎B種	◎A種 ◎B種 ◎B種
	屋内部 鉄鋼面 垂れめっき鋼面	◎B種 ◎B種 ◎B種	◎A種 ◎B種 ◎B種
	屋内部 鉄鋼面 垂れめっき鋼面	◎B種 ◎B種 ◎B種	◎A種 ◎B種 ◎B種
	屋内部 鉄鋼面 垂れめっき鋼面	◎B種 ◎B種 ◎B種	◎A種 ◎B種 ◎B種
	屋内部 鉄鋼面 垂れめっき鋼面	◎B種 ◎B種 ◎B種	◎A種 ◎B種 ◎B種
	屋内部 鉄鋼面 垂れめっき鋼面	◎B種 ◎B種 ◎B種	◎A種 ◎B種 ◎B種
	屋内部 鉄鋼面 垂れめっき鋼面	◎B種 ◎B種 ◎B種	◎A種 ◎B種 ◎B種
	屋内部 鉄鋼面 垂れめっき鋼面	◎B種 ◎B種 ◎B種	◎A種 ◎B種 ◎B種

◎合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ◎1種

8-11

鉄筋の種類

(8.2.1) (表8.2.1)

耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事

2 溶接金鋼

形状等 (8.2.2)

鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)

種類

種類の記号

使用箇所

呼び名 (mm)

・SD295A

◎D16以下

・

鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)

種類

種類の記号

使用箇所

呼び名 (mm)

・SD345

◎D19以上

・

・

3 鉄筋の継手

継手工法 (8.3.4) (表8.3.4)

継手方法

呼び名 (mm)

適用場所

・ガス圧接

・重ね継手

・

・

4 鉄筋及び溶接金鋼の最小かぶり厚さ

鉄筋及び溶接金鋼の最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 (8.3.5) (表8.3.6)

耐久性上不利な箇所での最小かぶり厚さ

施工箇所

改修標仕表8.3.6の値に加える寸法 (mm)

柱、梁、壁及び応などの外気に接する打ち放し

◎10

・

柱及び梁の主筋にD29以上の鉄筋の使用の有無

・無し

・有り (適用箇所: )

主筋のかぶり厚さ

・最小かぶり厚さ ( )mm

・

5 帯筋

帯筋の組立の形 (8.3.4)

各部配筋参考図1.1による

・H形 ・W-I形 ・W-II形

6 ガス圧接

圧接部の確認試験 (8.3.8) 標仕(5.4.9) 標仕(5.4.10)

・耐震改修 ◎ 外観試験 (全数) ◎ 超音波探傷試験 (全数)

・耐震改修以外 ◎ 外観試験 (全数) ◎ 超音波探傷試験

・引張試験

7 コンクリートの種類及び強度

レディーミストコンクリートの類別 (8.1.3) (表8.1.1)

◎ I 類 ・ I 類

普通コンクリートの設計基準強度 (8.1.3.4)

設計基準強度F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)

気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)

スランプ

適用箇所

◎21

2.3程度

◎18

・15又は18

・

8 普通コンクリートの材料

セメントの種類 (8.2.5)

◎普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

・高炉セメントB種 [6]

普通ポルトランドセメントは、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱

7d52J/g以下

28d02J/g以下

混和材料の種類 (8.2.5)

混和材料の種類

◎混和剤 (JIS A 6204に規定するAE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物質イオン量による区分はI類とする。)

・混和材 (JIS A 6201に適合するフライアッシュのI種又はII種、JIS A 6206に適合する高炉スラグ微粉またはJIS A 6202に適合する膨張剤。)

使用骨材のアルカリシリカ反応性による区分 (8.6.4)

・A

・B (コンクリート中のアルカリ総量R=3.0kg/kg)

9 レディーミストコンクリート工場の選定

レディーミストコンクリート工場の選定においては、「標準仕様書」6.4.1 (コンクリート製造工場の選定) によること。かつ、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場、品質管理監査実施の策定した統一審査基準に基づく審査に合格した工場) から選定することを基本とする。ただし、上記工場が工事現場近くに見当たらない場合は、監督官との協議により選定することとする。

10 モルタル及びグラウト材

柱底等の均しモルタル (8.2.5) (標仕7.10.3) (標仕表7.10.2)

◎無収縮モルタル

・標仕表7.10.2によるB種

グラウト材 (8.2.11)

◎無収縮グラウト材

無収縮モルタル及び無収縮グラウト材は、評価名簿による

11 型枠

打増し厚さ (8.7.8)

・打増し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)

・20mm

・打増し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)

・10mm ・20mm

・外装タイル後張り面の打増し処理

・20mm

打増し範囲

・意匠図による

12 無筋コンクリート

種類

設計基準強度F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)

スランプ (cm)

粗骨材の最大寸法

適用箇所

◎普通コンクリート

◎18

◎15又は18

◎25mm

・

・

・20mm

13 鉄骨製作工場

製作工場の加工能力 (8.1.5)

・監督職員の承諾する製作工場

・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構 (旧) (社)全国鉄構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「( )グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

14 入熱、バス間温度の溶接条件

適用箇所

◎柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

・図示 ( )

鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

◎図示

(8.1.5)

15 施工管理技術者

◎適用する

16 鋼材

鋼材の材質 (8.2.8) (表8.2.7)

種類の記号

適用箇所

規格等

◎JIS規格による

◎JIS規格による

◎JIS規格による

17 溶接接合

スカラップ (8.15.7)

◎改良型スカラップ

・

エンドタプの切除

・行う 適用箇所

・全て

・図示

・行わない

18	高力ボルト	高力ボルトの適用 ◎トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト（摩擦面の処理 ◎プラスチック処理 ・りん酸処理） すべり係数試験 ◎行わない	(8.2.9) (標仕7.12.4) (8.13.2)								
19	鉄骨工作仮組	・行う ◎行わない	(8.13.10)								
20	溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ◎行う 現場隅肉溶接部の外観検査 ◎行う 検査箇所 構造耐力上主要な部分である継手・仕口	(8.15.11.12)								
21	錆止めの塗料	耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う（JIS K 5622 ・ ） ◎行わない	(8.17.3)								
22	耐火被覆材	<table><thead><tr><th>種別</th><th>所要性能及び適用構造区分</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td></td></tr><tr><td>・耐火材吹付け</td><td>・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール</td></tr><tr><td>・耐火材張り</td><td></td></tr></tbody></table> 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定または認定を受けたものとする。	種別	所要性能及び適用構造区分	・ラス張りモルタル塗り		・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール	・耐火材張り		(8.18.2～7)
種別	所要性能及び適用構造区分										
・ラス張りモルタル塗り											
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール										
・耐火材張り											
23	既存コンクリートの目視し	適用範囲 ◎既存コンクリートとの打ち継ぎ面 ◎既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面 ・ 既存コンクリートの目視しの程度 ◎既存柱・梁面 打継ぎ面15～30%程度 ◎既存壁 打継ぎ面の10～15%程度 ・ 既存コンクリートの目視しの範囲 ◎平均深さ2～5mm（最大深さ7mm）程度の凹面を、全体にわたってつける ・	(8.21.3) (8.22.3)								
24	あと施工アンカーの材料	あと施工アンカーの材料 ・金属系アンカー（耐震補強用） ◎接着系アンカー アンカーの種類 ◎カプセル型回転・打撃式 接着剤の品質 ◎有機系 ・ 無機系 アンカー防の種類 ◎鉄筋コンクリート用異形棒損 ・全ねじボルト	(8.2.4)								
25	あと施工アンカーの穿孔	穿孔前の埋込み配管等の探査 範囲 ◎あと施工アンカー施工部分全て ・図示 方法 ◎探査器により探査し、配管等の位置の墨出しを行う ・はつり出しによる 既存コンクリートの不良箇所の確認 アンカー施工部位の既存コンクリートは目視した後、目視及び打診により状況を確認し、じゃんか等不良箇所を発見した場合には、監督職員と協議すること。	(8.12.2)								
26	あと施工アンカーの施工確認試験	確認試験 ◎行う 試験の方法 ◎引張試験（確認強度は図示による） ・行わない	(8.12.5)								
27	アンカーボルト	材料 ・構造用 ・SNR400B ・SNR490B ・建方用 ・SS400 保持及び埋め込み工法 ・構造用（・図示） ・建方用 ・標仕7.10.1による（・A種 ・B種 ・C種）	(標仕7.2.4) (標仕7.10.3) (標仕7.10.1)								
8-2	耐震改修工事	1 打増し壁に用いるシアコネクタ 種類 ◎「24 あと施工アンカーの材料」による 間隔（mm） ◎500×500 ・図示 2 増設・補強工事のコンクリートの打込み 工法の種類 ・流し込み工法 ・圧入工法 3 柱補強 ・溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・鋼板巻き工法及び鋼帯巻き付け工法 ・連続縦横補強工法 4 連続縦横シート巻き 材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度（含浸硬化後） ・2500N/mm <sup>2</sup> 以上 ・3000N/mm <sup>2</sup> 以上 ヤング係数（含浸硬化後） ・2.35×10 <sup>5</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度 ・2.30×10 <sup>5</sup> N/mm <sup>2</sup> 以上 工法 ◎（財）日本建築防炎協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 仕上げモルタルの除去 ◎行う ・行わない ひびわれ部の改修工法の種類 ・樹脂注入方法 ・リカットシール材充填方法 ・シール工法 柱の隅角部の面取り ◎工法の評価内容による 5 スリットの施工 スリット部の配管等の探査 ◎探査器により探査し、配管等の位置の墨出しを行う ・はつり出し 充填材 ◎外壁に配置されたスリット材は耐火性能及び止水性能を有するものとする その他は図示	(8.2.4) (8.21.8) (8.23.5) (8.23.5) (8.23.6) (8.24.1) (8.2.12) (8.24.1) (8.24.1) (8.25.2)								
工 事 名 称		各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）									
図面名称／縮尺		改修特記仕様書（その４）	図 面 番 号								
設 計 年 月 日		2024年10月	05								
設 計 者		株式会社池澤設計									
発 注 者		塩谷広域行政組合									





項 目		特 記 事 項													
●電灯設備	1 非常用照明器具	○電池内蔵形      ○電源別直形      ○蓄電池(10分)＋自家発電設備													
	2 誘導灯	○電池内蔵形      ○電源別直形      ○標識													
	③ 配線器具	(1) 防災設備、コンセントについては消防法に適合すること。 (2) 住宅用スイッチ、コンセント類は ●大角形(金属プレート)      ー共用部 ●ワイドハンドル形      ー住戸内													
	4 住宅用分電盤	主開閉器・分岐開閉器の定格遮断電流      [単位    A] <table><tr><td></td><td>定格電流</td><td>定格遮断電流</td></tr><tr><td rowspan="3">主開閉器</td><td>30以下</td><td>2,500以上</td></tr><tr><td>30を超え100以下</td><td>5,000以上</td></tr><tr><td>100を超え150以下</td><td>10,000以上</td></tr><tr><td>分岐開閉器</td><td>ー</td><td>2,500以上</td></tr></table> (公仕仕1.1.4) 住宅用分電盤内に設置する過電流警報装置の品質及び性能 (○機材の品質・性能基準      ○      )			定格電流	定格遮断電流	主開閉器	30以下	2,500以上	30を超え100以下	5,000以上	100を超え150以下	10,000以上	分岐開閉器	ー
	定格電流	定格遮断電流													
主開閉器	30以下	2,500以上													
	30を超え100以下	5,000以上													
	100を超え150以下	10,000以上													
分岐開閉器	ー	2,500以上													
○動力設備	1 機器への接続	(1) 本工事制御盤より別途電動機等への配線の接続は、原則として ○本工事      ○別途工事      とする。 (2) 電動機等への接続は、ビニル2種金属製可とう電線管(防水ブリカ)を使用する。 (3) 遮断器の定格電流は、メーカー推奨品を優先とする。													
	2 電動機の接地	○金属管接地      ○専用接地線													
○電熱設備	1 制御盤	標準仕様書によるが、盤内の器具類の構成配置は監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。													
	2 温度調節器 3 その他	○電気式      ○電子式													
○雷保護設備	1 突針支持管	○銅製(溶融亜鉛メッキ HDZ35以上)      ○ステンレス製 (強度計算書を監督職員に提出すること)													
	2 避雷導線 3 接地極 4 その他	○引下げ導線      ○建築構造体利用 ○接地極埋設      ○建築構造体利用 接続部分については、異種金属接触腐食(電食)を起こさないように施工すること。													
○受変電設備	1 高圧開閉器(屋外用) 2 主遮断装置 3 設備内容 4 配電盤 5 その他	高圧気中開閉器(S06)は(○方向性      ○VT内蔵      ○LA内蔵)      ○既存 高圧ガス開閉器(UGS)は(○方向性      ○VT内蔵)      ○既存 高圧交流遮断器(VCB)は(○手動式      ○電磁式)      ○既存 進相コンデンサー(自動力率制御      ○有り      ○無し) デマンド監視装置(○有り      ○無し) ○屋内形(○開放形○閉鎖形)      ○屋外形      ○キュービクル式非常電源専用受電設備認定品 (1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。 (2) 保護継電器の保護協調曲線を作成し、監督職員に提出し、承諾を受けること。 なお、改修工事についても同様とする。													
	1 直流電源装置 2 交流無停電電源装置(UPS) 3 電力貯蔵装置(電力平準化等用) 4 その他	○非常用照明器具の電源と共用      ○受変電設備専用蓄電池 ○鉛蓄電池 種別(○CS形      ○PS形      ○MSE形      ○長寿命MSE形      ○HSE形) ○アルカリ蓄電池 種別(○AMP形      ○AMHP形      ○AHP形      ○AHS形      ○AHHS形      ○AHHE形) ○常時インバータ給電方式 ○常時インバータ給電方式(簡易型) ○ラインインタラクティブ方式 ○常時商用給電方式 ○リチウム二次電池      ○鉛蓄電池      ○ニッケル水素電池 (1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。 (2) 簡易形については、監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。													

○自家発電設備	1 自家発電設備	(1)発電装置の用途      ○防災用自家発電装置      ○常用自家発電装置 ○常用防災兼用自家発電装置 (2)原動機      種類      ○ディーゼル      ○ガスエンジン ○ガスタービン      ○マイクロガスタービン 始動方式      ○電気始動式      ○空気始動式 起動蓄電池(○標準      ○長寿命型) 冷却方式      ○水冷式(○循環方式      ○ラジエーター方式) ○空冷式 (3)燃料      種類      ○A重油      ○軽油      ○灯油 燃料小出槽      (○本工事      ○別途工事) 主燃料槽      (○専用      ○他設備と共用) ○キュービクル式      (○一般用      ○寒冷地仕様      ○低騒音仕様) ○オープン式 (5)発電種類      ○普通形自家発電装置      ○即時普通形自家発電装置 ○長時間形自家発電装置      ○即時長時間形自家発電装置 (6)運転時間      ○72時間      ○ 時間 (7)配電盤      監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。 太陽電池モジュール ○結晶シリコン系      (○単結晶      ○多結晶) ○薄膜系      (○アモルファス      ○CIS      ○CIGS) 接続方式 ○三相3線式      200V      ○単相3線式      200/100V その他 ・ JET認証品とする。 ・ JIS C8955に基づき、荷重計算を実施し監督職員の承諾を得ること。 ・ OVGの設置      ○有      ○無 ・ 太陽電池アレイ用支持物の荷重計算に係わる用途係数 ○極めて重要な太陽光発電システム      ○通常設置する太陽光発電システム
	2 太陽光発電設備	
○構内情報通信網設備	1 構内情報通信網装置 2 構内情報通信網装置の構成性能	○有      ○無 図示による。 その他追加機能 ○ ○
	1 交換装置 2 電話機 3 その他	○デジタルPBX      ○IP-PBX      ○VoIPサーバ      ○既存 ○一般形      ○多機能形      ○IP形 ○ファクシミリ      ○デジタルコードレス形      ○IPコードレス形 ○携帯電話機 追加サービス機能 ○
○情報表示設備	1 マルチサイン 2 時刻表示装置 3 出退表示装置 4 水道漏測検知設備	表示方式 ○発光ダイオード式      ○液晶式      ○EL式 種類 ○壁掛型      ○自立型 ○親時計      ○子時計      ○プログラムタイマー      ○電子チャイム 時刻同期装置 ○標準電波方式      ○公衆回線方式      ○ラジオ放送方式      ○GPS方式 ○地上デジタル放送方式      ○NTPサーバー方式 制御方式 ○多線直接式      ○パルス伝送式 表示方式 ○発光ダイオード式      ○液晶式 検針盤 ○手動式      ○自動式 配線 ○3線式      ○5線式      ○
	1 プロジェクタ 2 テレビ	○本工事      ○別途工事 種類      ○液晶形      ○DLP形 投写方式      ○前面式      ○背面式 スクリーン      形式      ○反射マット形      ○反射ビーズ形      ○反射細密ビーズ形 ○反射ストライプ形      ○透過形 設置方式      ○上巻きタイプ      ○下巻タイプ      ○張込タイプ その他      機器収納ラックは監督職員の承諾のうえ、製造者標準として良い。 ○本工事      ○別途工事
○拡声設備	1 拡声装置	種類      ○一般放送用      ○非常放送用 形式      ○卓上形      ○キャビネットラック形 アンテナ      ○AM(○ステンレス鋼製      ○      ) ○FM(○耐食アルミニウム製      ○ステンレス鋼製)

○誘導支援設備	1 誘導支援装置	○音声誘導装置(○無線式      ○磁気式      ○画像認識式) ○インターホン装置(○テレビインターホン      ○外部受付用インターホン) ○トイレ等呼出装置      (○壁掛式      ○ラック収納式      ○卓上式) ○住宅情報壁装置      消防法に適合した旨の表示をすること 公共住宅の住宅情報壁装置の品質及び性能 (○機材の品質・性能基準      ○      ) ○インターホンオートドアロック装置 ○宅配ボックス装置 公共住宅の宅配ボックスの品質及び性能 (○機材の品質・性能基準      ○      )
	1 テレビ共同受信装置	種類      ○UHF      ○BS      ○CS      ○CATV      ○FM      ○AM その他      増幅器を収容する場合は、AC125V2P15A接地端子付きのコンセントを設ける。 テレビ端子及び直列ユニットはCS・BS・UV・FM共用形、プラグ付きとする。 地上デジタル放送を受信できるものとする。 公共住宅のテレビ機器・FMアンテナの品質及び性能 (○機材の品質・性能基準      ○      )
○監視カメラ設備	1 監視カメラ装置	伝送方式 ○アナログ伝送方式      ○ネットワーク伝送方式      ●デジタル同軸伝送方式 録画装置 ○デジタルレコーダ      ○録画サーバ その他 ・ 高所に設置する場合は落下防止の措置を施すこと。
	1 駐車場管制装置	検知方式 ○光線式検知器式      ○ループコイル式 信号灯・警報灯 ○天井つり下げ形      ○自立形      ○壁掛形
○防犯入室管理設備	1 防犯装置 2 電気錠	○本工事      ○本工事(配管のみ)      ○別途工事 制御装置      基本機能以外の追加機能 ○ 方式      ○磁気カード      ○増設番号      ○ICカード(接触式) ○ICカード(非接触式)      ○バイオメトリックス ○本工事      ○別途工事
	①自動火災報知装置 2 自動閉鎖設備 3 非常警報装置(非常ベル) 4 ガス漏れ火災警報装置 5 住宅用自動火災報知装置	受信機      ○P型      級      回線(○新設      ○既設) ○R型      回線(○新設      ○既設) ○GP型      級      回線(○新設      ○既設) ○GR型      回線(○新設      ○既設) ○副受信機      回線(○新設      ○既設) ○運動制御器(盤)      回線(○単独      ○受信機と一体) ○機器一体形      ○各機器単独に設置 ○個別式      ○集中監視式      回線 ガスの種類 ○都市ガス(種類      )      ○液化石油ガス ○冷暖ガス ○共同住宅用非常警報設備(共用部分) 非常警報装置の蓄電池は、      ○警報操作盤に組み込む      ○機器一体型 ○住戸用自動火災報知設備(住戸等と非開放の共用部分) ○共同住宅用自動火災報知設備
○中央監視制御設備	1 中央監視制御装置 2 中央監視制御装置の構成・性能	○警報盤      ○簡易型監視制御装置      ○監視制御装置 図示による。

○構内配電線路	1 配線方式 2 地中線路の余長 3 装柱器材 4 付属品 5 屋外灯設備 6 その他	○地中線式      ○架空線式 マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。 ○一般形      ○耐塩形（ケーブル端末処理材共） ○マンホール用梯子 ○ハンドホール用手カギ (1)電源供給方式      ○共用盤から供給      ○単独引込（定額料金） (2)点滅方式      ○自動点滅器      ○タイマ （廊下共用灯は、      ○自動点滅器      ○タイマ） (3)鋼管柱      ○塩ビコーティング      ○耐候性鋼製 (1)      ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート（プラスチック製等に刻字）を取付け、ブルボックス及びカバープレート類についても適当な方法により内容表示を行うものとする。 (2)      地中配線には、埋設シート等を管頂と地表面のほぼ中間に設けるものとする。 (3)      電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。
	1 配線方式 2 地中線路の余長 3 地中線保護材料 4 付属品 5 その他	○地中線式      ○架空線式 マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。 ○ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管（GLT） ○波付硬質合成樹脂管（FEP） ○硬質ビニル管（VE） ○マンホール用梯子 ○ハンドホール用手カギ (1)      ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート（プラスチック製等に刻字）を取付け、ブルボックス及びカバープレート類についても適当な方法により内容表示を行うものとする。 (2)      地中配線には、埋設シート等を管頂の地表面のほぼ中間に設けるものとする。 (3)      電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。

工 事 名 称		各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）	
図面名称／縮尺	電気設備特記仕様書（その２）	図 面 番 号	
設 計 年 月 日	2024年10月	07	
設 計 者	株式会社池澤設計		
発 注 者	塩谷広域行政組合		

●その他工事共通事項

①施工調査

②電線本数・管路

3金属製露出管路

4呼び線（導入線）

⑤コンセント

6一般照明の照度測定

7非常用の照明装置の照度測定箇所数

8キャビネット

9接地極

10SPD

特記事項

・はつり工事は事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。  
・配線・機器工事は、事前に絶縁抵抗、接地抵抗を確認し、監督職員に報告する。  
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線において、配線経路、電線サイズ、電線本数、管路サイズなどは機能を優先し、監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。  
下記の露出配管は塗装を行う。  
○屋外      ○屋内（                      ）  
塗装を行う場合、露出配管等は合成樹脂調査ペイント1種（JIS K5516）2回塗りを行う。  
亜鉛めっき面は、エッチングプライマー1種（JIS K5633）による化学処理を行う。  
長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。  
図面に特記なき場合は、コンセント2P15A（接地極付）は、プラグ不要とする。  
○有                      ○無  
○有                      ○無  
  
○キュービクル式配電盤の板厚は下記による。

構成部		銅板の厚さ（mm）	
		屋内	屋外
側面部	1.6以上		2.3以上
底板			1.6以上
屋根板			2.3以上
仕切板			1.6以上
ドア及び前面板			2.3以上

  
○制御盤、分電盤の板厚は下記による。

正面の面積		銅板の厚さ（mm）	
		銅板	ステンレス
0.2㎡以下	0.2㎡を超えるもの	1.2以上	1.0以上
		1.6以上	1.2以上

  
○端子盤・機器収納ラック等の板厚は下記による。

正面の面積		銅板の厚さ（mm）	
		銅板	ステンレス
0.1㎡以下	0.1㎡を超える0.2㎡以下	1.0以上	0.8以上
		1.2以上	1.0以上
0.2㎡を超えるもの		1.6以上	1.2以上

  
○接地抵抗値は下記による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
○共同接地	EA.D	Ω以下	○EB（14φ）×3連2組 ○図面特記による
○共同接地	EA.C.D	Ω以下	○EB（14φ）×3連2組 ○図面特記による
○A種接地	EA	10Ω以下	○EB（14φ）×3連2組 ○銅板式（900×900×1.5t）
○B種接地	EB	Ω以下	○EB（14φ）×3連1組 ○銅板式（600×600×1.5t）
○D種接地	ED	100Ω以下	EB（10φ）×1（L=1000mm）
○C種接地	EC	Ω以下	EB（14φ）×3連2組
○高圧避雷器	EL.H	10Ω以下	○EB（14φ）×3連2組 ○銅板式（900×900×1.5t）
○避雷設備	EL	Ω以下	○EB（14φ）×3連2組 ○銅板式（900×900×1.5t）
○交換機用	Et	Ω以下	EB（14φ）×3連 組
○通信用	EAt	10Ω以下	EB（14φ）×3連2組
○通信用	ECt	100Ω以下	EB（10φ）×1（L=1000mm）
○測定用	E0		EB（10φ）×1（L=1000mm）

  
B種接地については、電力会社と協議する。  
※印は、接地極寸法を示す。  
(1) 接地極の埋設位置で、監督員の指示する箇所に接地極埋設標を設ける。  
(2) 外灯の接地は                      ○各ポールごと                      ○専用接地線

SPDを                      ○低圧線路                      ○弱電線路                      に設ける。  
○電灯分電盤                      ○動力制御盤                      ○弱電盤                      ○図面特記参照

⑪取付高さ

12天井仕上り表示

13他工事との取合い

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

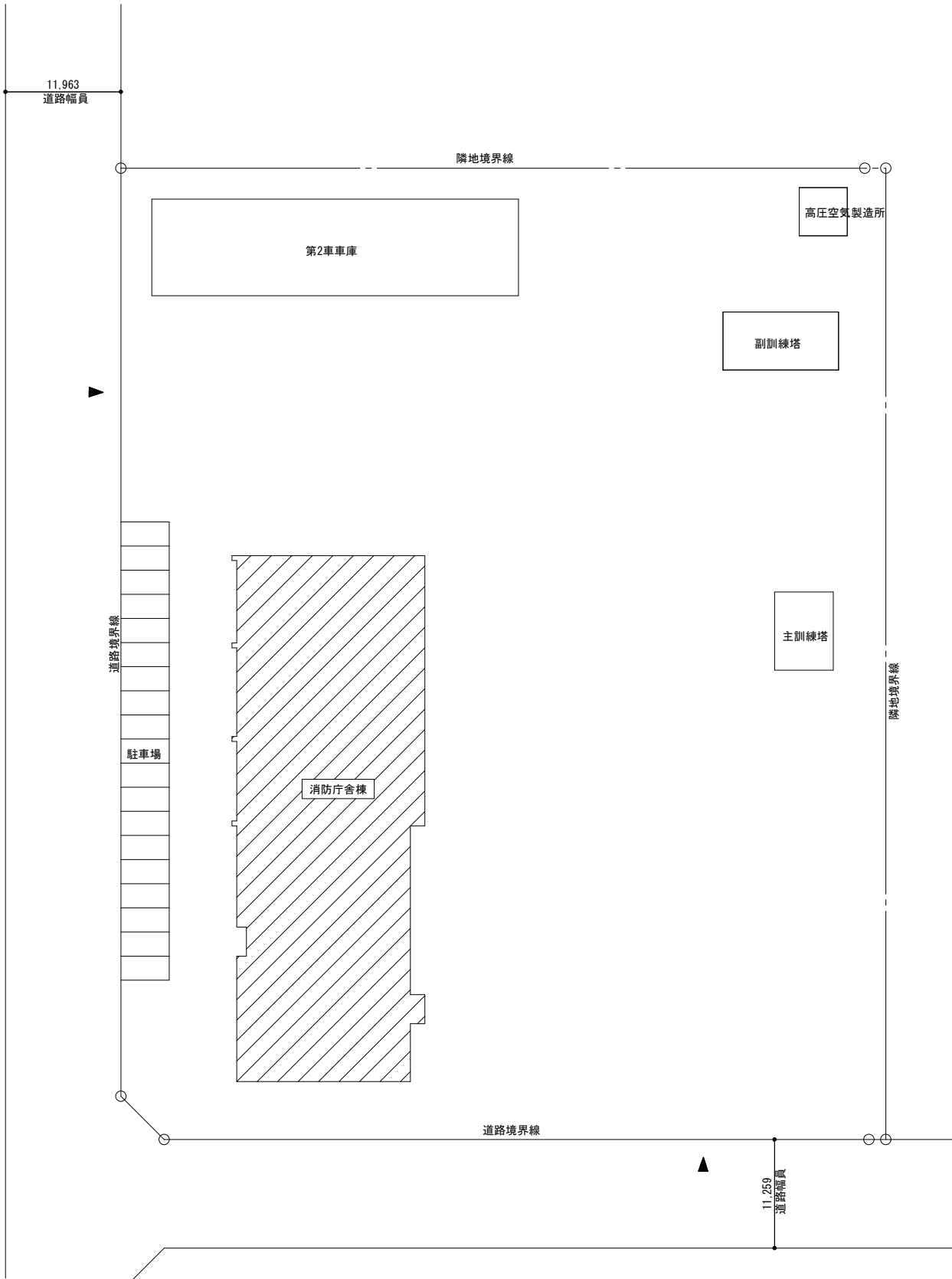
名称	測点	取付高[mm]
ブラケット（一般）	床～中心	2,100
〃（踊場）	〃	2,500
〃（鏡上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床～上端	1,000以下
スイッチ（一般）	床～中心	1,300
〃（多機能トイレ）	〃	1,100
コンセント、電話用7芯ケーブル、直列ユニット（一般）	〃	300
〃（和室）	〃	150
〃（台所）	台～中心	150
コンセント（車庫）	床～中心	800
引込開閉器箱（低圧）	床～上端	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床～中心	1,500上端1,900以下
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,300
接地用端子箱	地上、床～中心	500
避雷接地用端子箱	床～下端	800
接地極埋設標	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
中間端子盤（E P S電気室）	床～中心	1,500
観時計	〃	1,500上端1,900以下
子時計、スピーカ	〃	（天井高）×0.9
アツチネータ	〃	1,300
出退表示盤	〃	（天井高）×0.9
発信機（出退表示用）	〃	1,300
インターホン	〃	1,500
身体障害者用インターホン主機	〃	1,100
呼出ボタン（多機能トイレ）	〃	900
復帰ボタン（                      〃                      ）	〃	1,800
廊下表示灯（                      〃                      ）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	〃	1,800
火報受信機（複合盤）	床～操作部	800～1,500
副受信機	床～中心	1,500
自動報機器収容箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	（天井高）×0.9
表示灯	〃	（天井高）×0.8
運動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（L Pガス）	〃	300
〃（都市ガス）	天井面～中心	（天井面）-200

  
〔備考〕（天井高）×0.9及び（天井高）×0.8は天井高が2500～3000mmの場合に適用する。  
  
図面において、室名に（                      ）を付したものは直天井の室、それ以外は二重天井の室を示す。  
他工事との取合いは別表1による、機器の位置、取合い等の検討できる施工図を施工に支障をきたさない時期までに提出して、監督職員の承諾を受ける。


別表-1	他工事との取合い	●印を適用する。					
工 事 内 容	建築工事	電気設備工事	機械設備工事	塗装工事	昇降機設備工事		
仮設電力の引込み（分電盤・キュービクルまで）	●	○	○	○	○	○	
〃（上記以降）	●	●	○	○	○	○	
仮設電力の電気料	○	●	●	●	○	○	
本受電後の電気基本料金	○	○	○	○	○	○	
本受電後引渡しまでの電気使用料	●	●	●	●	●	○	
仮設水道の引込み（メーターまで）	●	○	○	○	○	○	
〃（上記以降）	●	●	●	○	○	○	
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料	●	○	○	●	●	○	
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠（電気、機械の配管等）	○	○	○	○	○	○	
すべての開口、貫通、埋込部の補強	●	○	○	○	○	○	
屋上に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）	●	○	○	○	○	○	
屋内及び屋外に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）	○	●	●	○	○	○	
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の位置・墨出し	○	●	●	○	○	○	
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み	○	○	○	○	○	○	
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み	●	○	○	○	○	○	
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強	●	○	○	○	○	○	
天井換気扇の取付	○	○	●	○	○	○	
壁窓用換気扇の取付	○	○	●	○	○	○	
同上取付枠	●	○	○	○	○	○	
点検口の取付（床・壁・天井・PS等）	●	○	○	○	○	○	
防煙ダンパー	○	○	●	○	○	○	
同上 煙感知器の配管・配線	○	○	○	○	○	○	
床仕上げ材の穴あけ（フローリングブロック等）	●	●	○	○	○	○	
ルーフドレイン及び縦どい（斜及び側溝までの配管）	●	○	○	○	○	○	
配線ビッド及び蓋	●	○	○	○	○	○	
電極棒及びフロートスイッチ	○	○	○	○	○	○	
自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等2次側配線	●	●	○	○	○	○	
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御	○	○	○	○	○	○	
同上の2次側配線	○	○	●	○	○	○	
天井吊り形放熱器（FCU等）と操作スイッチとの配管・配線・接地工事	○	○	○	○	○	○	
消火栓箱総合盤用穴あけ	○	○	●	○	○	○	
設備機器のインターロックの配管・配線	○	○	○	○	○	○	
電気設備のフェンス・金網	○	○	●	○	○	○	
ガス漏れ警報器（単設型）	○	○	○	●	○	○	
〃（兼中監視型）	○	○	○	○	○	○	
ガス漏れ警報用器用コンセント	○	○	○	○	○	○	
送り付け流し台	●	○	○	○	○	○	
同上排水トラップ	●	○	○	○	○	○	
既製流し台及び排水トラップ（ガス台・洗面化粧台等を含む）	○	○	○	○	○	○	
既製吊戸棚	○	○	○	○	○	○	
鏡（姿見は建築工事）	○	○	○	○	○	○	
昇降機の出入口開口の型枠	○	○	○	○	○	○	
〃 押釦、インジケーター配管用スリーブ及び型枠	○	○	○	○	○	○	
〃 ビット内保守用コンセント	○	○	○	○	○	○	
外壁取付ガラリ、排煙口	○	○	○	○	○	○	
体育館などの器具・安定器など取付下地金物	○	○	○	○	○	○	
昇降機インターホンの配管・配線	○	○	○	○	○	○	

工 事 名 称	各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）	
図面名称／縮尺	電気設備特記仕様書（その3）	図 面 番 号
設 計 年 月 日	2024年10月	08
設 計 者	株式会社池澤設計	
発 注 者	塩谷広域行政組合	





配置図 S=1/300

 : 工事対象建物を示す

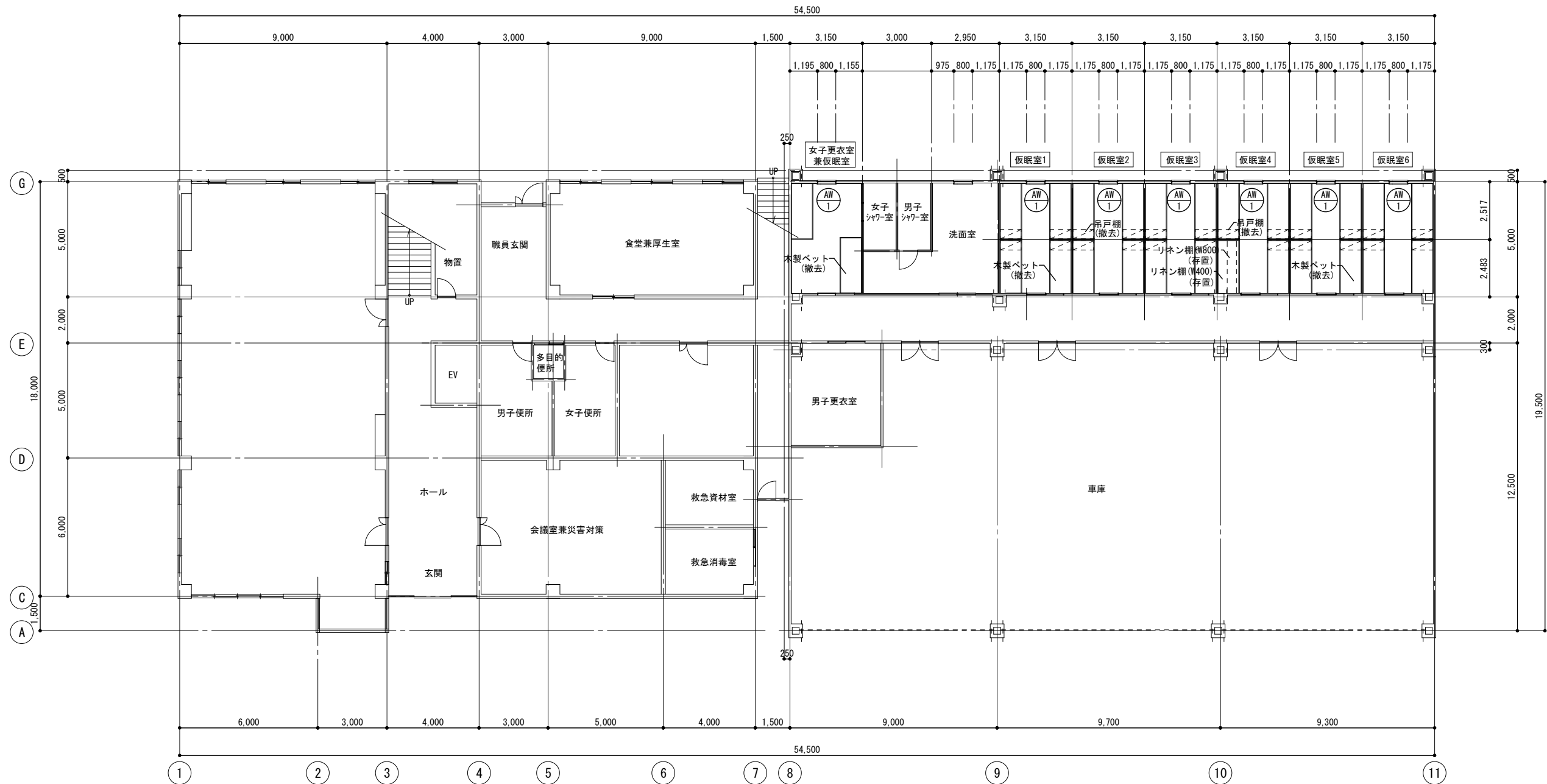


工事場所：栃木県矢板市富田94番地1

案内図 S=N.S

- 工事概要
- ・木製ベットを撤去し、カプセルベットを新設する。
    - 1階 仮眠室 23床
    - 女子更衣室兼仮眠室 2床
    - 2階 男子通信員仮眠室 4床
    - 女子通信員仮眠室 2床
  - ・仮眠室のアルミ製建具をカバー工法で改修する。
  - ・天井点検口を移設する。
  - ・仮眠室のコンセント、スイッチを移設する。
  - ・仮眠室のエアコン及びロスナイのスイッチを移設する。
  - ・カプセルベット内に感知器を新設する。

記事					管理技術者				年 月 日	工事名称	図面番号				
									2024.10	各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）					
									縮 尺 A1 S=1/300 A3 S=1/600	図面名 案内図・配置図					
株式会社 池澤設計					一級建築士事務所 栃木県知事登録 ( A ^ ) 1864 号 一級建築士 建設大臣登録 165937 号				池澤 達夫			09			
栃木県宇都宮市北若松原 2 丁目 1 1 番 1 9 号 (鹿沼事務所) 鹿沼市上永野 2 1 7 - 1					TEL 028 (655) 3723 TEL 0289 (84) 0252										



1階平面図(改修前) S=1/100

□ : 改修する部屋を示す

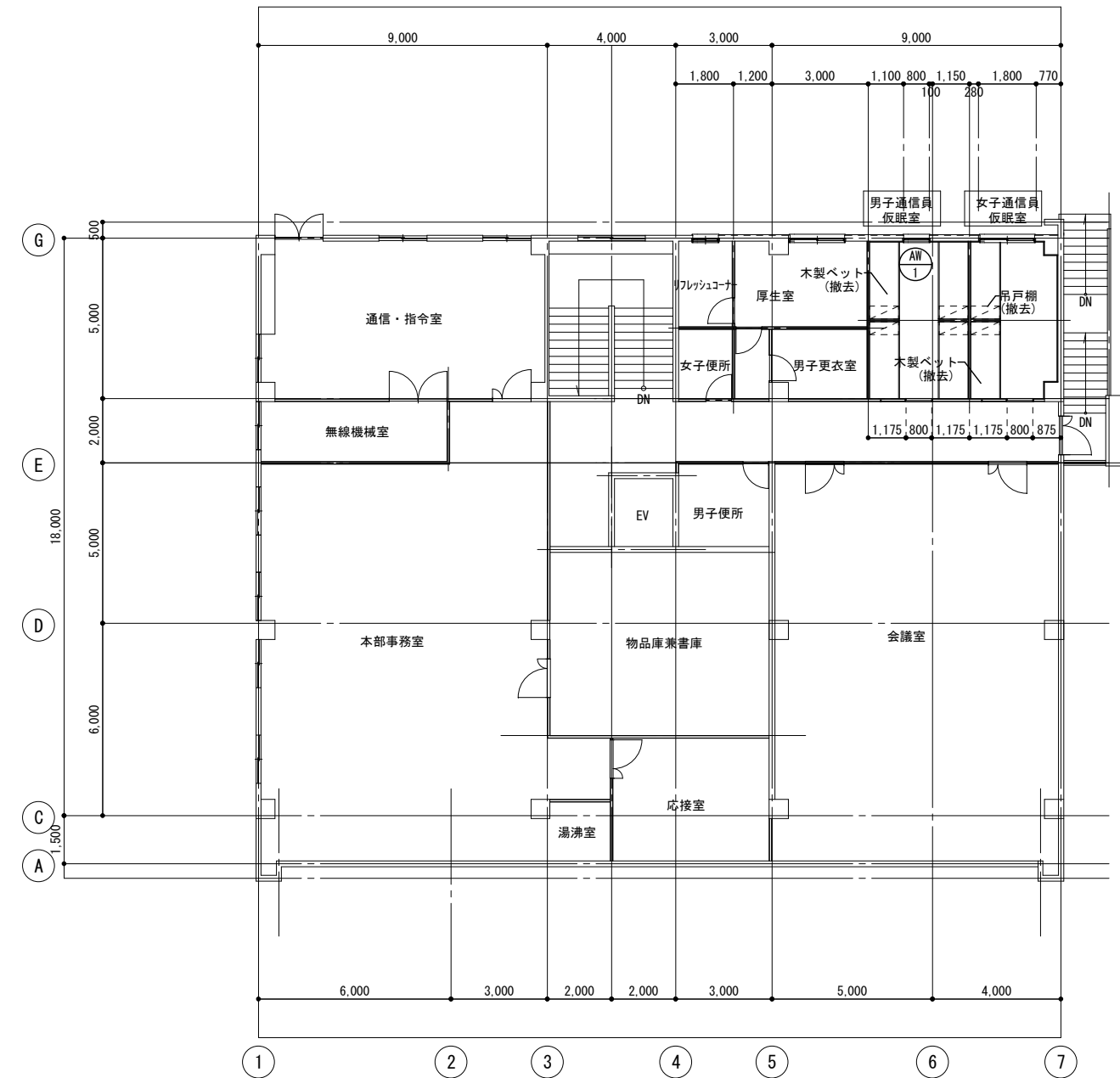
記事					株式会社 池澤設計	一級建築士事務所	栃木県知事登録	(A ^ ) 1864 号	管理技術者				年 月 日	工事名称	図面番号
						一級建築士	建設大臣登録	165937 号				2024.10	各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）		
					栃木県宇都宮市北若松原 2 丁目 1 1 番 1 9 号	TEL 028(655)3723	池澤 達夫				縮 尺	図面名			
					(鹿沼事務所) 鹿沼市上永野 2 1 7 - 1	TEL 0289(84)0252				A1 S=1/100 A3 S=1/200	1階平面図(改修前)				
															10



1階平面図(改修後) S=1/100

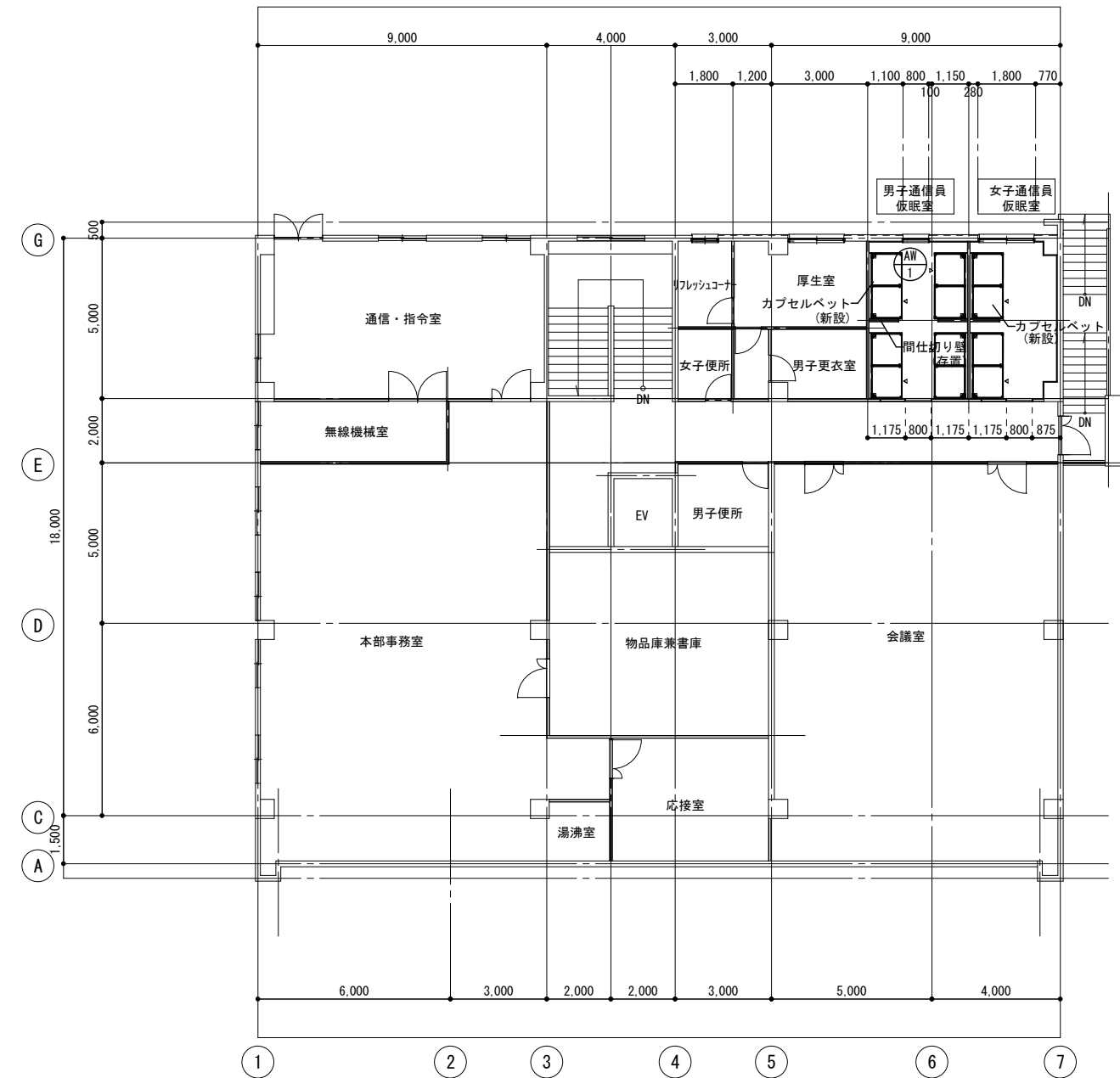
□ : 改修する部屋を示す  
新設するカプセルベットは、全てAタイプ

記事	-----				株式会社 池澤設計	一級建築士事務所	栃木県知事登録	( A ^ ) 1864 号	管理技術者					年 月 日	工事名称	図面番号
	-----					一級建築士	建設大臣登録	165937 号						2024.10	各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）	
	-----					栃木県宇都宮市北若松原 2 丁目 1 1 番 1 9 号				TEL 028 (655) 3723	池澤 達夫	縮 尺 A1 S=1/100 A3 S=1/200	図面名			
	-----					(鹿沼事務所) 鹿沼市上永野 2 1 7 - 1				TEL 0289 (84) 0252	1階平面図(改修後)					
																11



2階平面図(改修前) S=1/100

：改修する部屋を示す

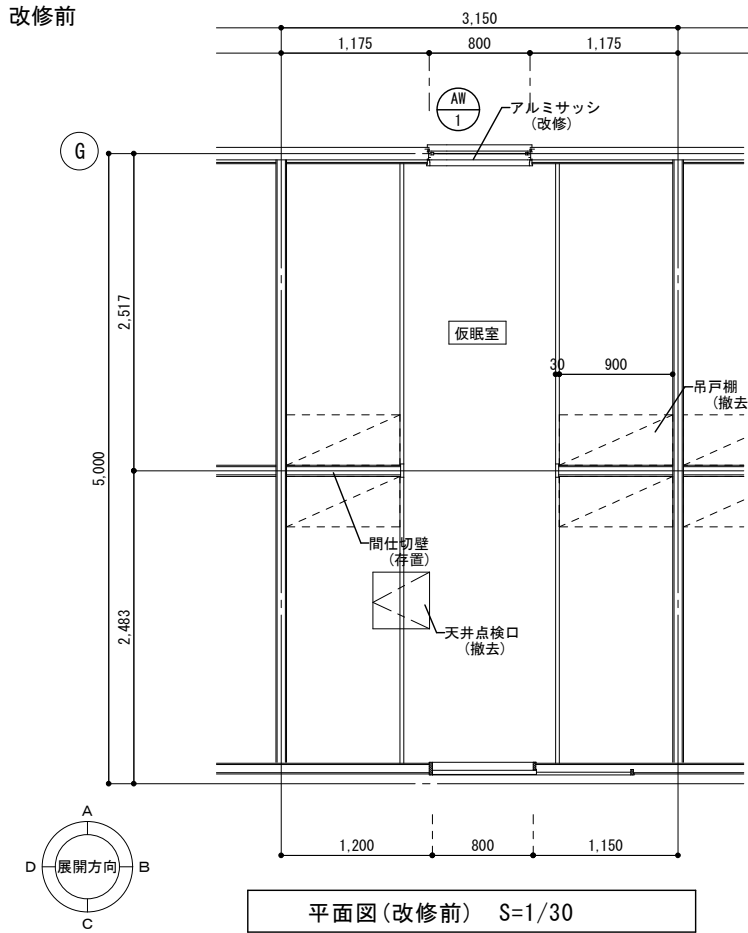


2階平面図(改修後) S=1/100

：改修する部屋を示す  
新設するカプセルベットは、全てAタイプ

記 事					株式 会社			池澤設計	一級建築士事務所	栃木県知事登録	(A へ) 1864 号	管理技術者					年 月 日	工事名称	図面番号
								一級建築士	建設大臣登録	165937 号						2024.10	各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）		
					栃木県宇都宮市北若松原 2 丁目 1 1 番 1 9 号			TEL 028(655)3723	池澤 達夫						縮 尺	図面名			
								(鹿沼事務所) 鹿沼市上永野 2 1 7 - 1			TEL 0289(84)0252						A1 S=1/100 A3 S=1/200	2階平面図(改修前・改修後)	12

改修前



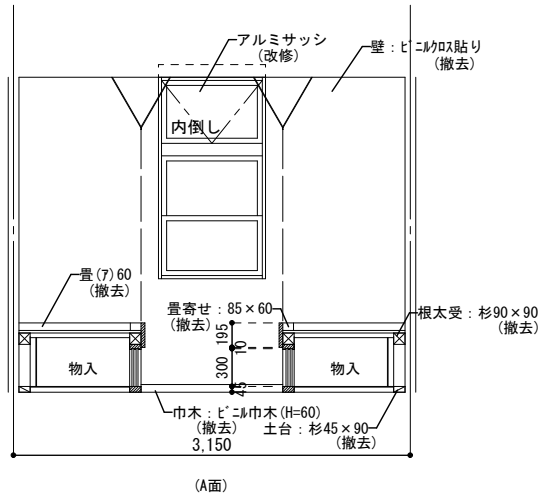
仕上げ表

床	モルタル金ゴテ下地 (存置) 長尺塩ビシート (7) 2.5 (存置)
幅木	ビニル巾木 (H=60) (撤去)
壁	PB (7) 12.5下地 (存置) ビニルクロス貼り (撤去)
天井	軽量鉄骨下地 化粧PB (7) 9.5 (存置)
廻縁	塩ビ製廻縁 (存置)

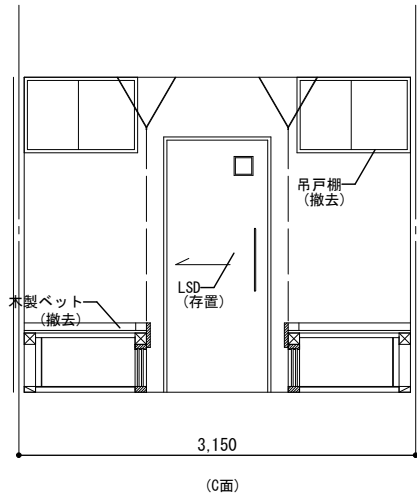
建具表 (S=1/50)

記号・箇所	AW 1	8
形式・見込	内倒し窓+上げ下げ窓	70
材質	アルミ (カラー)	
硝子	4mm型ガラス	
金物	附属金物一式、3方アルミ膳板 (75)、水切り	
改修内容	撤去	
備考	網戸 (SUS製)、7&3ミッドライトボックス (150×80)	

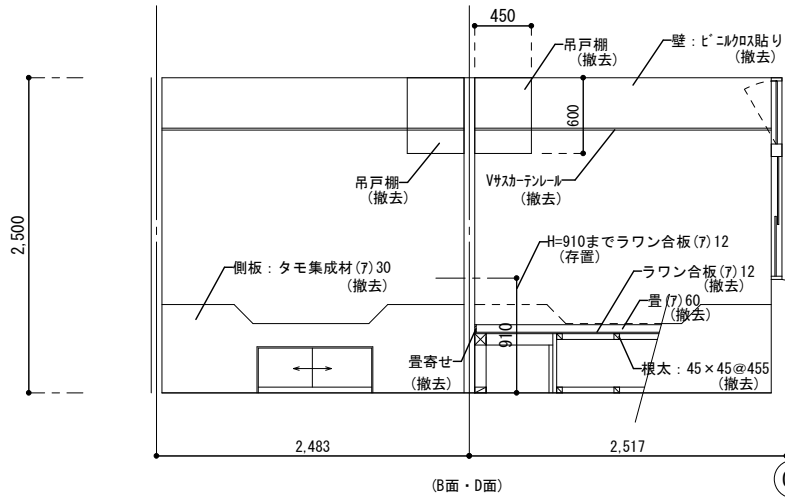
平面図 (改修前) S=1/30



(A面)



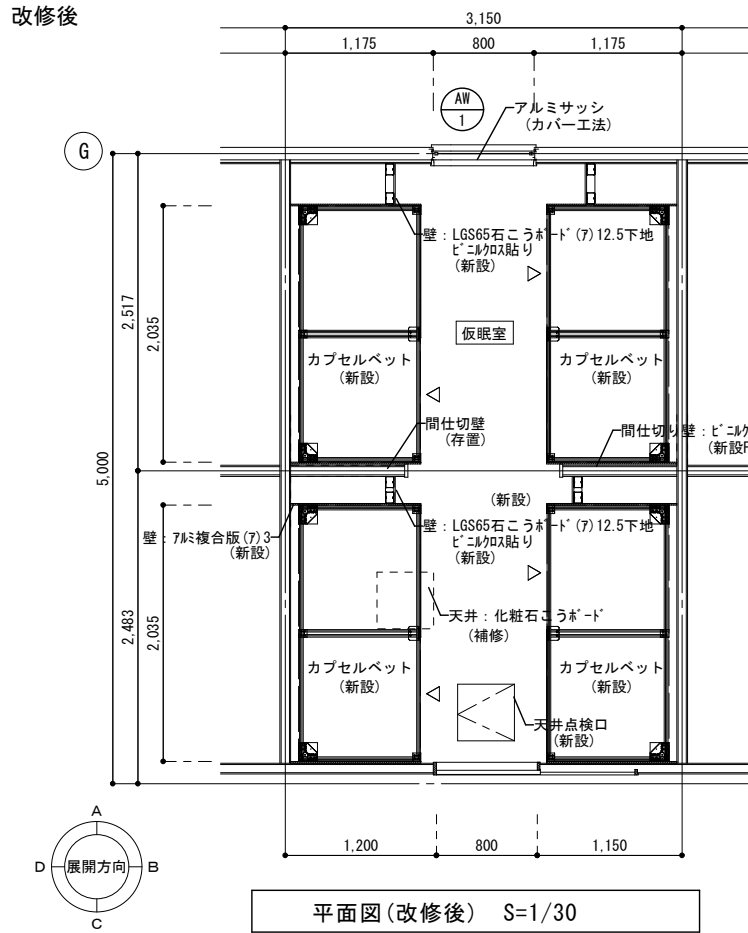
(C面)



(B面・D面)

展開図 (改修前) S=1/30

改修後



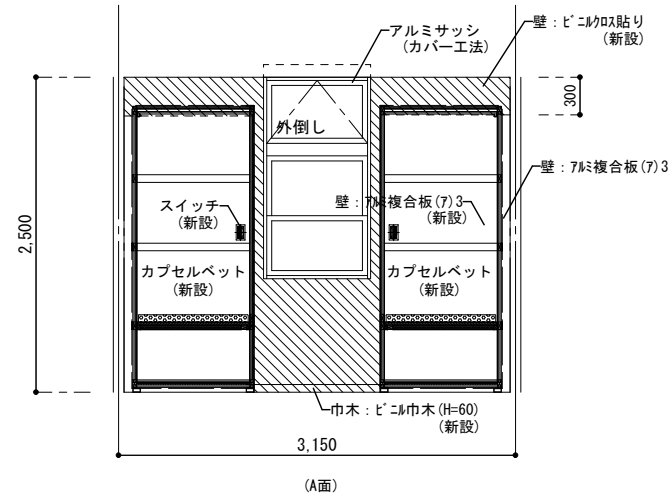
仕上げ表

床	モルタル金ゴテ下地 (存置) 長尺塩ビシート (7) 2.5 (存置)
幅木	ビニル巾木 (H=60) (新設)
壁	PB (7) 12.5下地 (存置) ビニルクロス貼り (新設)
天井	軽量鉄骨下地 化粧PB (7) 9.5 (一部補修) 既存の上、EP-G塗り
廻縁	塩ビ製廻縁 (存置)

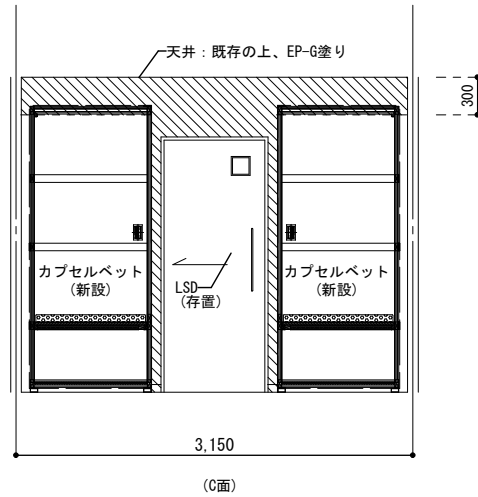
建具表 (S=1/50)

記号・箇所	AW 1	8
形式・見込	外倒し窓+上げ下げ窓	70
材質	アルミ (カラー)	
硝子	4mm型ガラス	
金物	附属金物一式、3方アルミ膳板 (75)、水切り	
改修内容	カバー工法 (排煙窓部分: 外倒し)	
備考	ロール式網戸 (SUS製)、7&3ミッドライトボックス (150×80)	

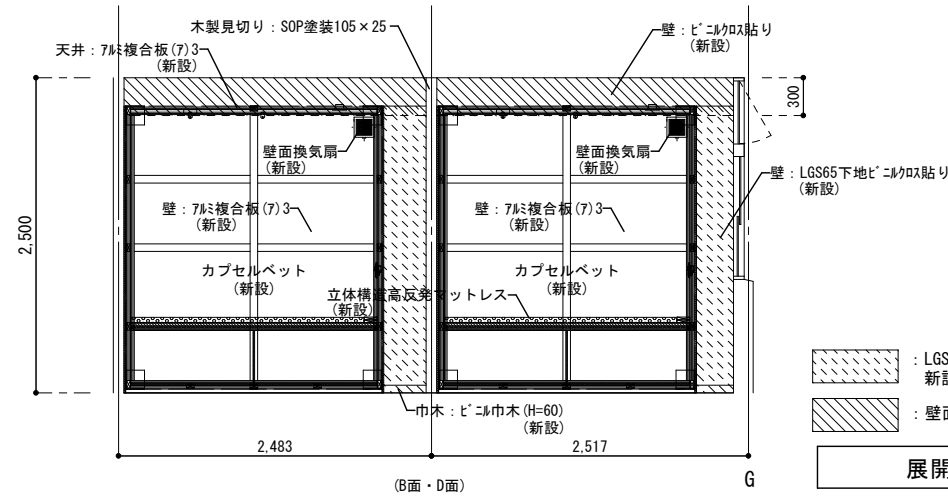
平面図 (改修後) S=1/30



(A面)



(C面)



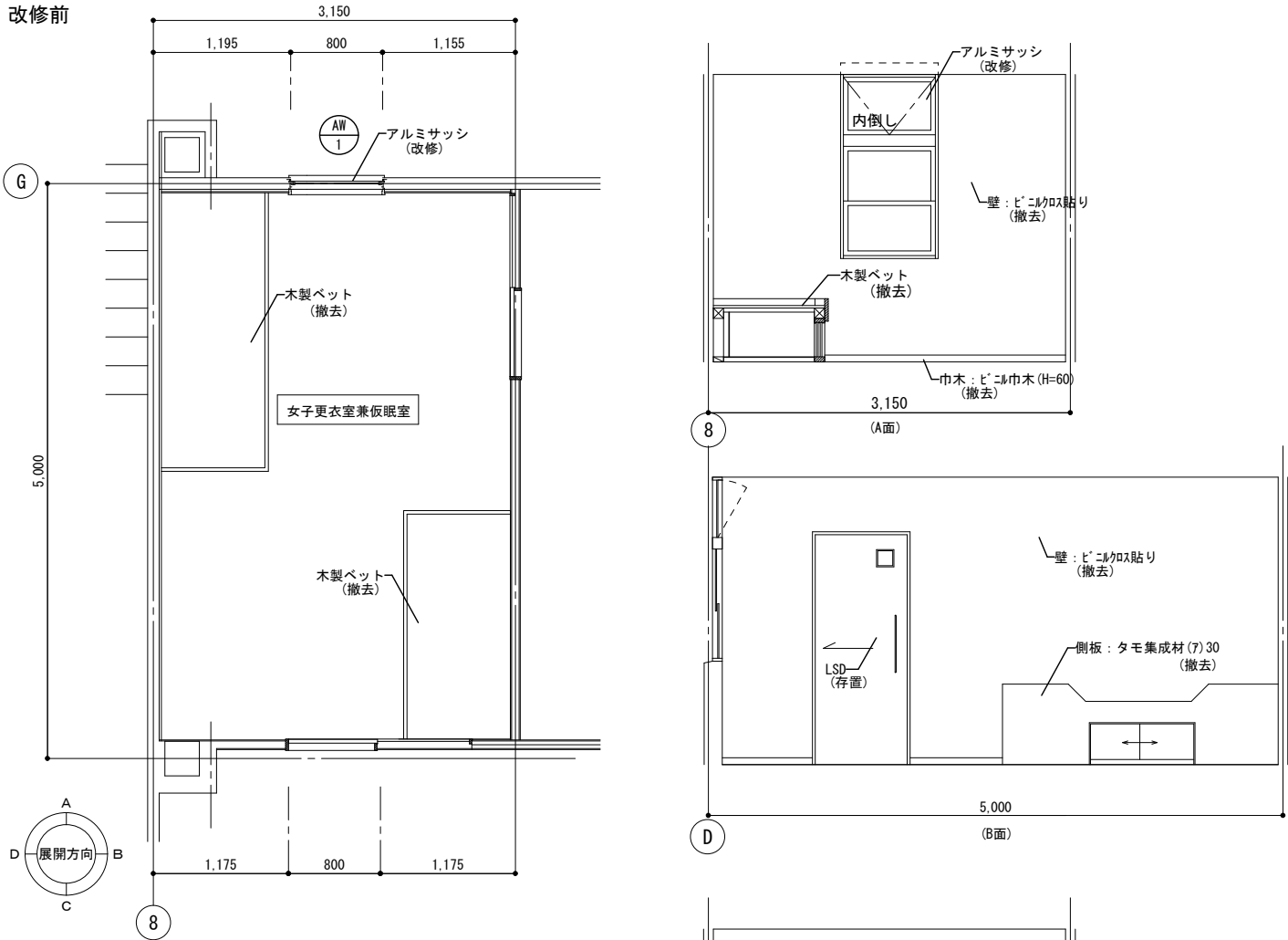
(B面・D面)

展開図 (改修後) S=1/30





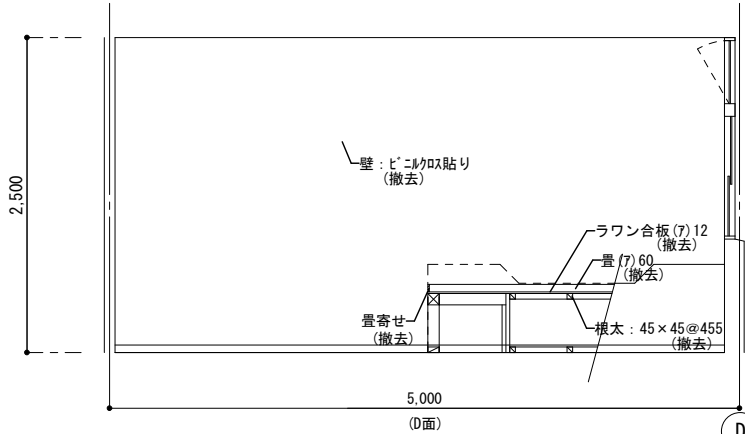
改修前



平面図(改修前) S=1/30

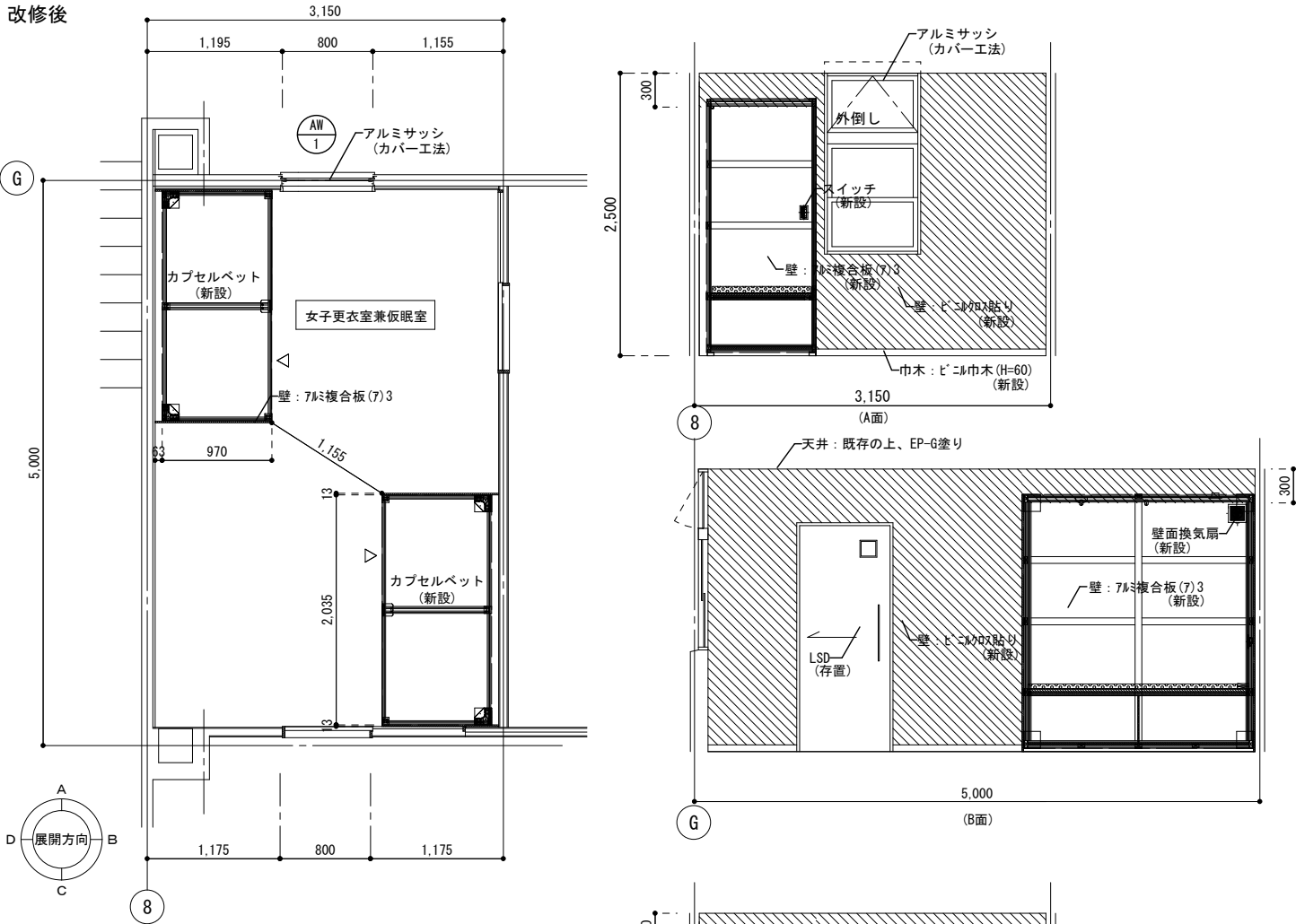
仕上表

床	モルタル金ゴテ下地(存置) 長尺塩ビシート(7)2.5(存置)
幅木	ビニル巾木(H=60)(撤去)
壁	PB(7)12.5下地(存置) ビニルクロス貼り(撤去)
天井	軽量鉄骨下地 化粧PB(7)9.5(存置)
廻縁	塩ビ製廻縁(存置)



展開図(改修前) S=1/30

改修後



平面図(改修後) S=1/30

仕上表

床	モルタル金ゴテ下地(存置) 長尺塩ビシート(7)2.5(存置)
幅木	ビニル巾木(H=60)(新設)
壁	PB(7)12.5下地(存置) ビニルクロス貼り(新設)
天井	軽量鉄骨下地 化粧PB(7)9.5 既存の上、EP-G塗り
廻縁	塩ビ製廻縁(存置)

：壁面ビニルクロス貼り新設範囲を示す

展開図(改修後) S=1/30

記  
事

株式会社 池澤設計

一級建築士事務所 栃木県知事登録 (Aハ)1864号  
一級建築士 建設大臣登録 165937号  
栃木県宇都宮市北若松原2丁目11番19号 TEL 028(655)3723 池澤 達夫  
(鹿沼事務所) 鹿沼市上永野217-1 TEL 0289(84)0252

管理技術者

年月日  
2024.10  
縮尺  
A1 S=1/30  
A3 S=1/60

工事名称

各署感染防止対策改修工事(矢板消防署)

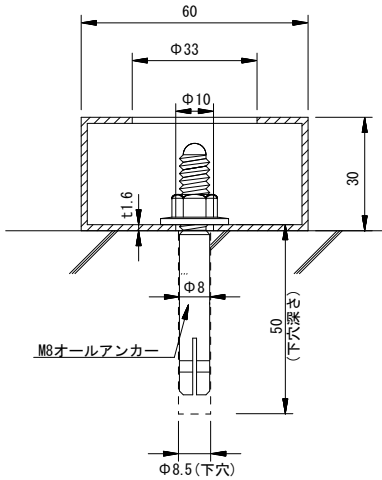
図面名

平面図・仕上表・展開図2(改修前・改修後)

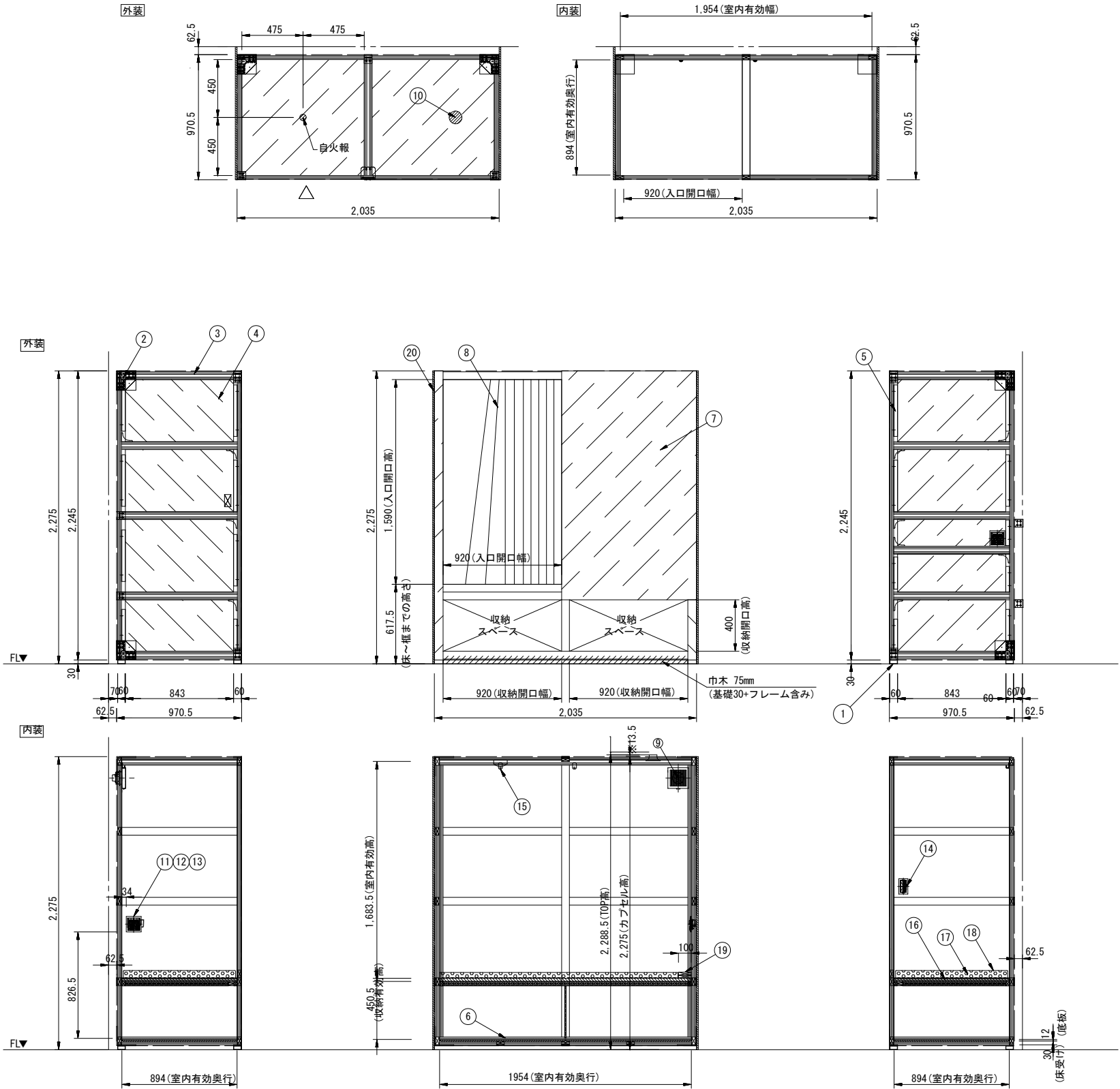
図面番号

15

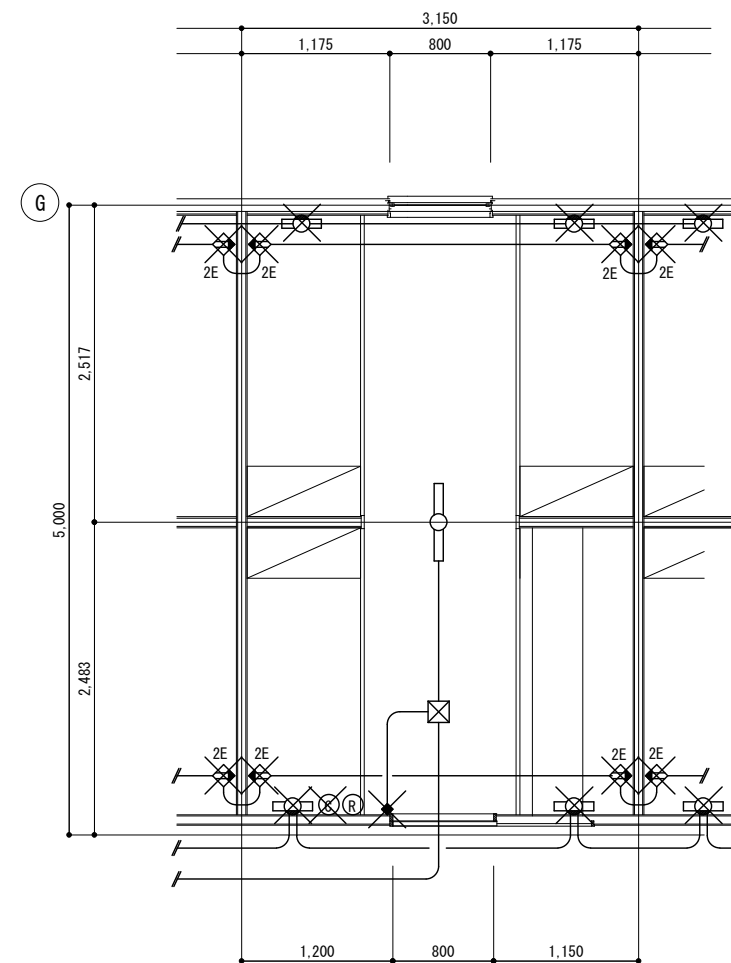
	No.	部 品 名	材質・特記事項
部 材	①	基礎鋼材	AL
		H=30mm 巾木	
	②	コーナー金具	AL・ダイキャスト
	③	アルミフレーム	AL[MOOK シルバー艶消]
	④	パネル	アルミ樹脂複合板
		t3mm (側面・背面に吸音材貼り付け)	
装 飾	⑤	Lアングルバー	AL
	⑥	底板	SECC(t0.8)・2枚割
	⑦	正面化粧パネル	アルミ樹脂複合板
機 器		t3mm [素地(白)]	
	⑧	カーテン	
		防炎・ウォシャブル・遮光仕様	
	⑨	換気扇	フィルター仕様
	⑩	照明器具	天井埋込型ダウンライト(100V)
		調色調光機能(2200K~6200K)	
	⑪	照明スイッチ	ロータリー式照明調光
		ほたるスイッチ付き	
	⑫	換気扇スイッチ	ほたるスイッチ付き
	⑬	コンセント	2口仕様(100V+USB-A)
内 装	⑭	入ロスイッチ	3路スイッチ
		室内灯LED[ON/OFF]、ほたるスイッチ付き	
	⑮	ハンガーフック	大 2箇所
	⑯	床板	合板
	⑰	マットレス	立体構造高反発マットレス
	⑱	ベッドパット	防炎仕様
	⑲	小物置き棚	化粧合板
	⑳	側面化粧	アルミ樹脂複合板
		t3 [素地(白)]	
	※その他特記事項 ・ 自火報配線穴:Φ20(足元中央)		











カプセルベット柱脚部詳細図 S=1/1



改修前



電氣設備図(改修前) S=1/30

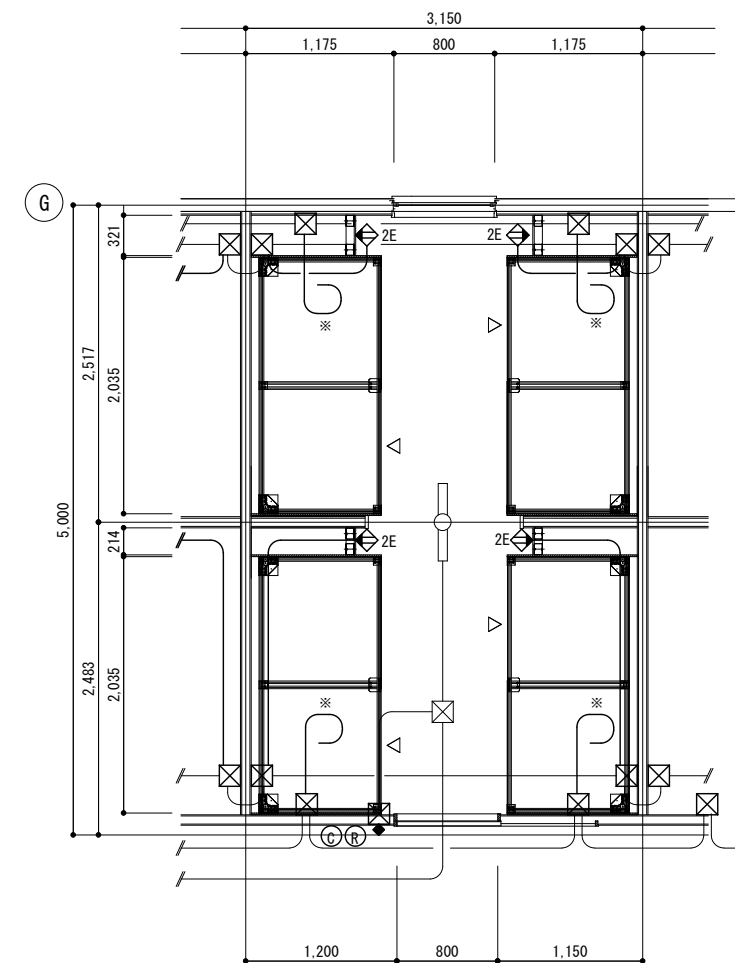
凡 例		
記 号	名 称	備 考
	照明器具 (天井付) 40W	(存置)
	照明器具 (壁付) 20W	(撤去)
	2Eコンセント	(撤去)
	1個スイッチ	(撤去)
	ジャンクションボックス	(存置)
	撤去を示す	
	エアコンリモコン	(取外)
	ロснаイスツチ	(撤去)

記事



株式会社 **池澤設計**      一級建築士事務所      栃木県知事登録  
    一級建築士      建設大臣登録

栃木県宇都宮市北若松原2丁目1番19号      TEL 028(655)3723  
 (鹿沼事務所) 鹿沼市上永野2丁目7-1      TEL 0289(84)0252

改修後



電気設備図(改修後) S=1/30

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	照明器具 (天井付) 40W	(存置)
	2E コンセント	(新設)
	1個スイッチ	(新設)
	ジャンクションボックス	(新設)
	エアコンリモコン	(再取付)
	ロスナイススイッチ	(新設)
_____	EM-EFF2.0-3C(露出)	

※：プルボックスより配線余長3m及び引掛コンセントを示す

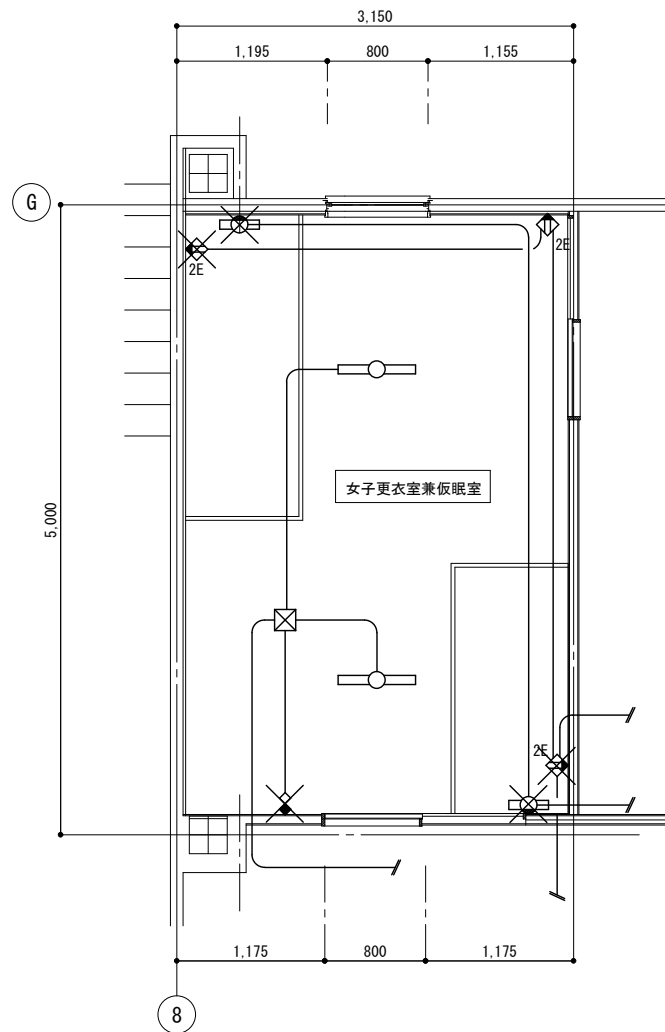
管理技術者

年 月 日	2024.10
縮 尺	A1 S=1/30 A3 S=1/60

工事名称	各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）
図面名	電気設備図1（改修前・改修後）

図面番号

改修前

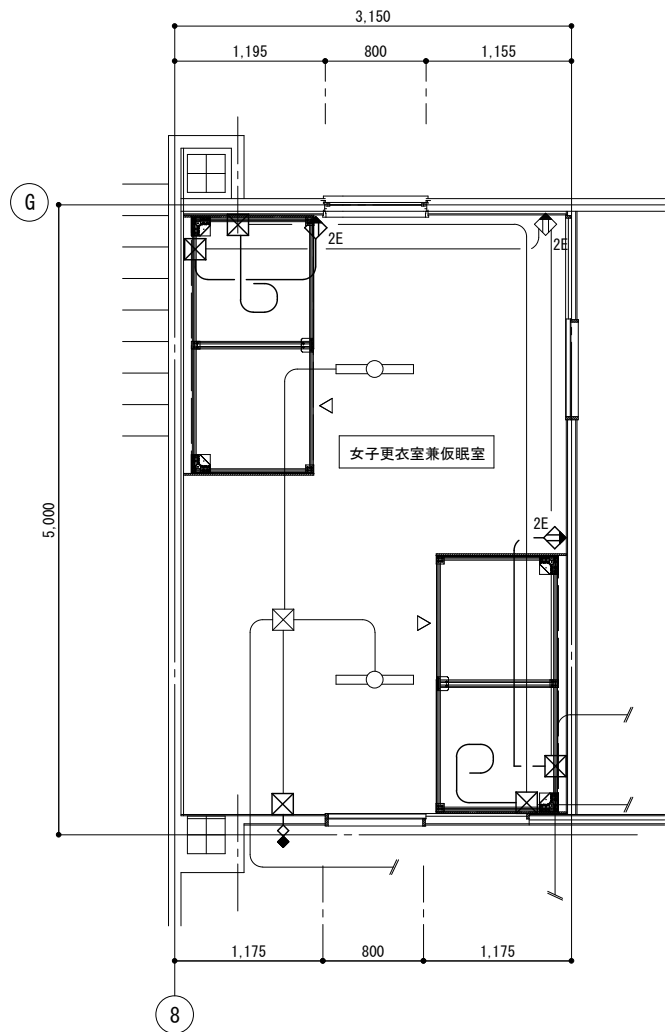


電気設備図(改修前) S=1/30

凡 例

記 号	名 称	備 考
	照明器具(天井付)40W	(存置)
	照明器具(壁付)20W	(撤去)
	2Eコンセント	(撤去)
	2個スイッチ	(撤去)
	ジャンクションボックス	(存置)
	撤去を示す	

改修後

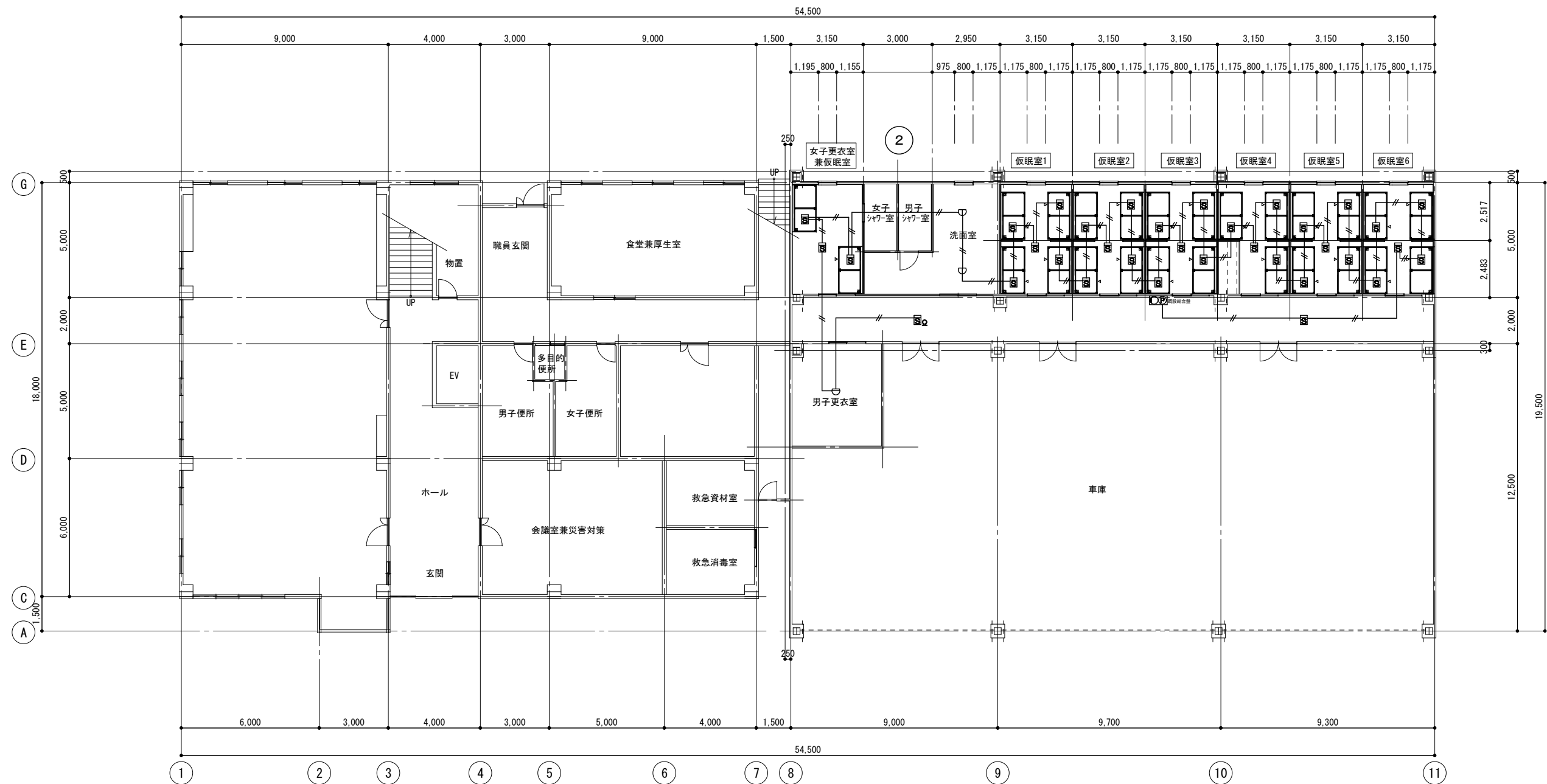


電気設備図(改修後) S=1/30

凡 例

記 号	名 称	備 考
	照明器具(天井付)40W	(存置)
	2Eコンセント	(新設)
	2個スイッチ	(新設)
	ジャンクションボックス	(新設)
	EM-EEF2.0-30(露出)	

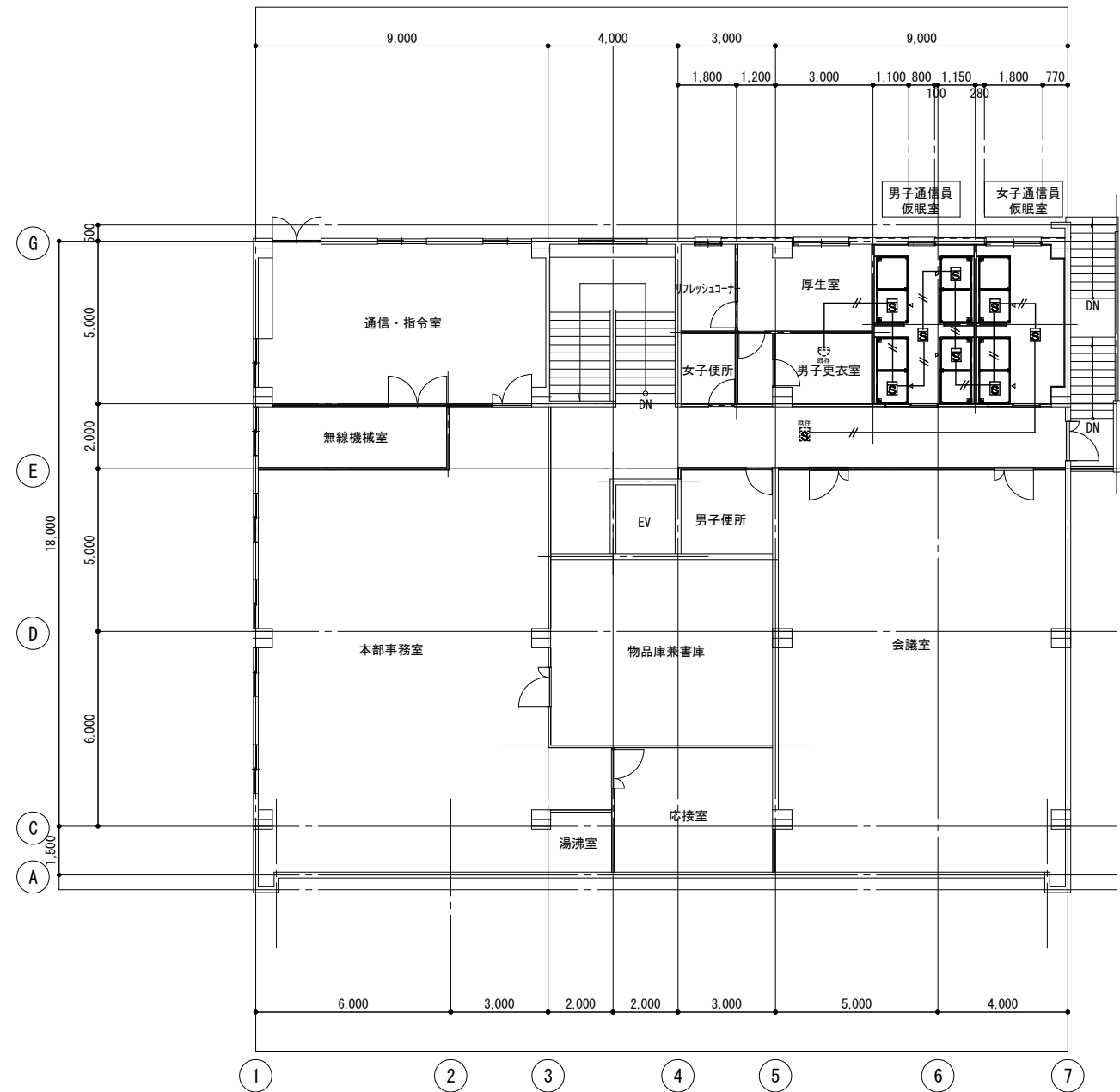
※：プルボックスより配線余長3m及び引掛コンセントを示す




1階平面図(改修後) S=1/100

□ : 改修する部屋を示す

記事	-----				株式会社 池澤設計	一級建築士事務所	栃木県知事登録	(A ^ ) 1864 号	管理技術者					年 月 日	工事名称	図面番号
	-----					一級建築士	建設大臣登録	165937 号		2024.10	各署感染防止対策改修工事 (矢板消防署)					
	-----					栃木県宇都宮市北若松原 2 丁目 1 1 番 1 9 号				TEL 028 (655) 3723	池澤 達夫	縮 尺	図面名			
	-----					(鹿沼事務所) 鹿沼市上永野 2 1 7 - 1				TEL 0289 (84) 0252	A1 S=1/100 A3 S=1/200	自動火災報知設備 1階平面図 (改修後)	19			

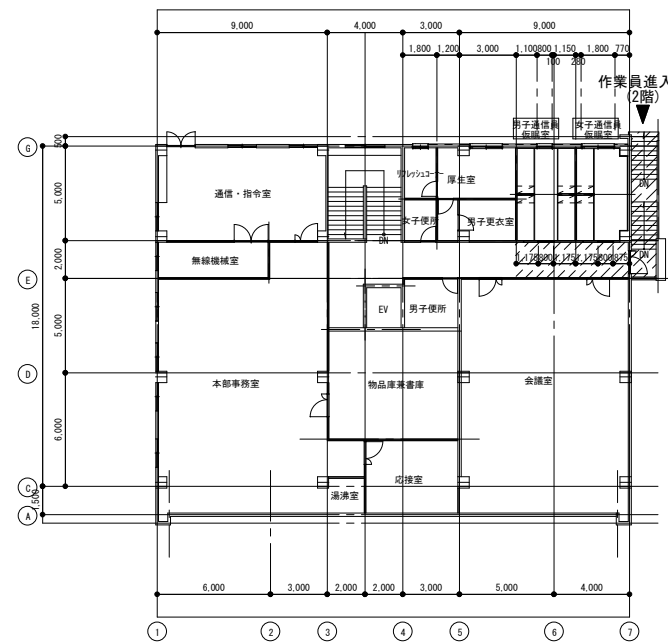
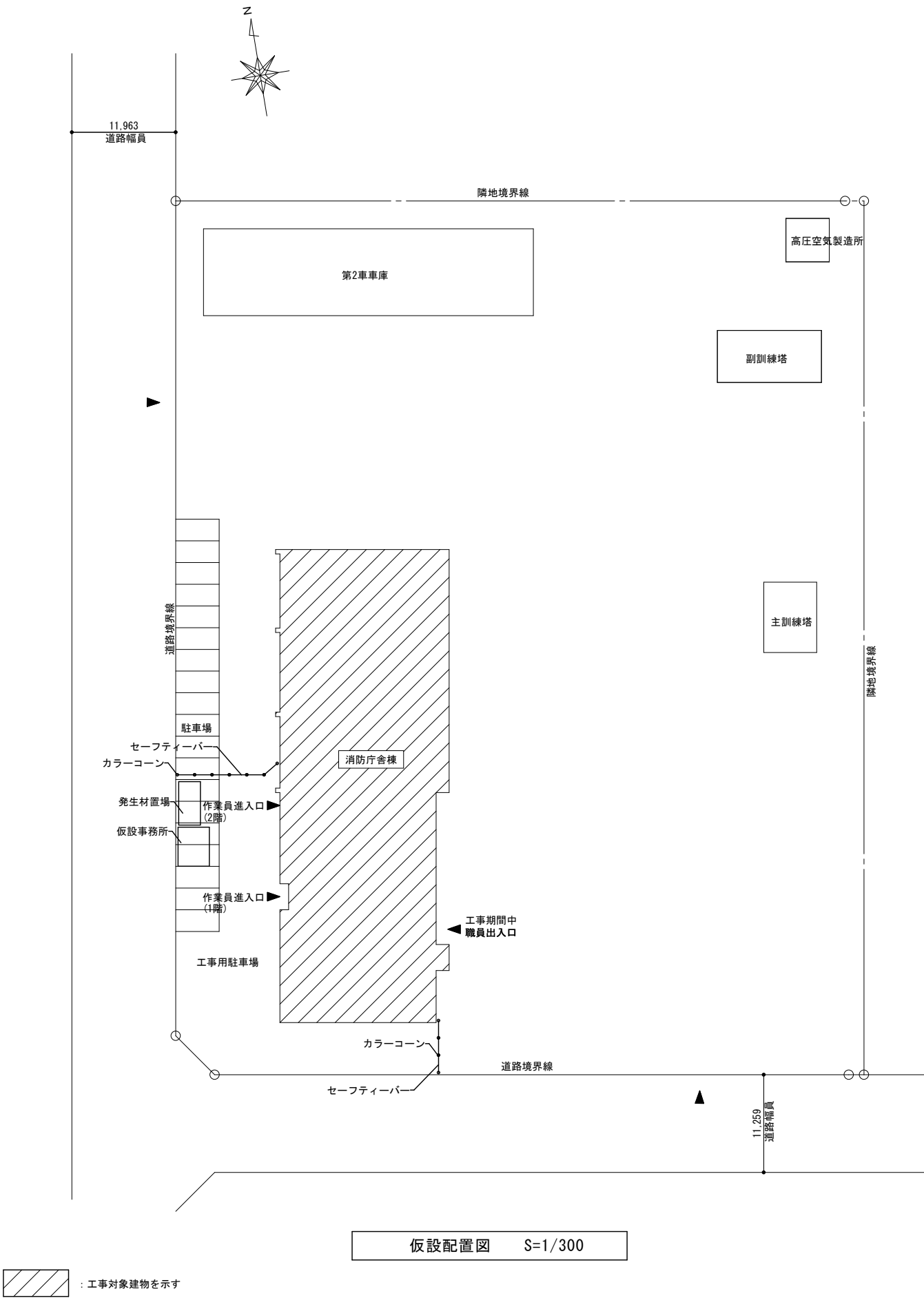


2階平面図(改修後) S=1/100

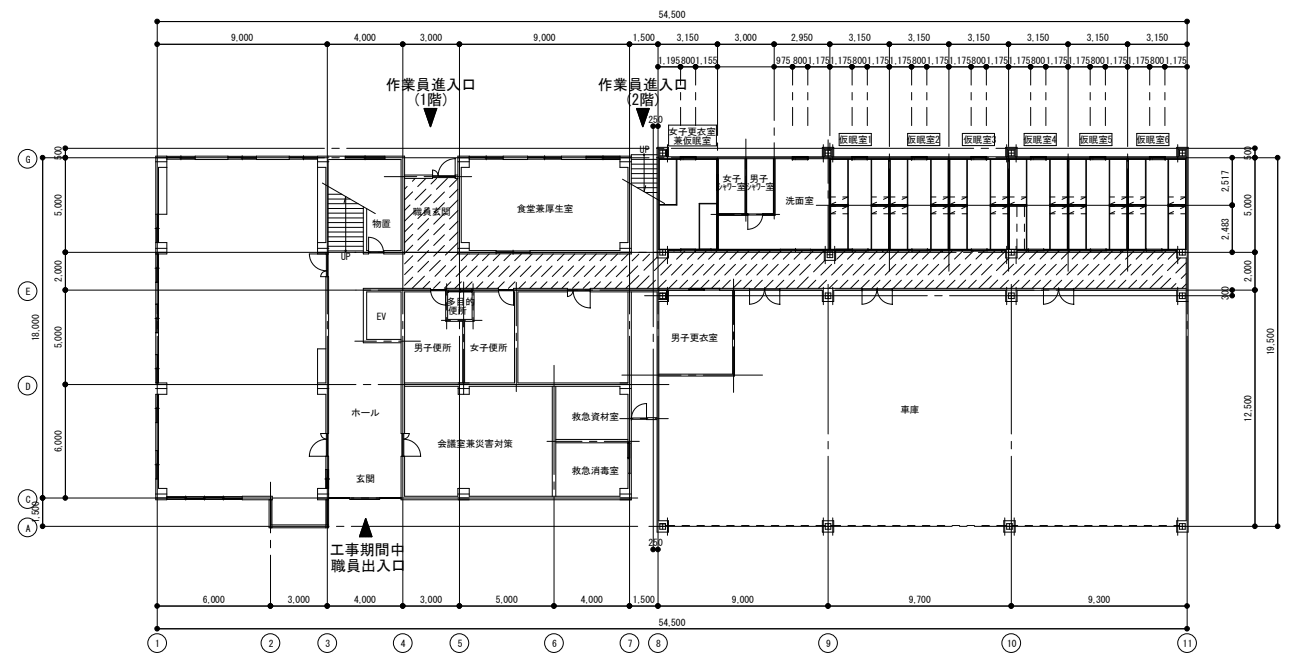
 : 改修する部屋を示す  
新設するカプセルベットは、全てAタイプ

記事					株式会社 池澤設計				管理技術者				年 月 日		工事名称		図面番号	
					一級建築士事務所 栃木県知事登録 (A^ ) 1864 号 一級建築士 建設大臣登録 165937 号						2024.10		各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）					
					栃木県宇都宮市北若松原 2 丁目 1 1 番 1 9 号 (鹿沼事務所) 鹿沼市上永野 2 1 7 - 1				TEL 028 (655) 3723 TEL 0289 (84) 0252		縮 尺 A1 S=1/100 A3 S=1/200		図面名 自動火災報知設備 2階平面図(改修後)					
																		20





仮設2階平面図 S=1/200



仮設1階平面図 S=1/200

：工事対象建物を示す

：床養生(搬入路部分)を示す

記事					管理技術者				年 月 日	工事名称	図面番号
									2024.10	各署感染防止対策改修工事（矢板消防署）	
									縮 尺 A1 S=1/200、300 A3 S=1/400、600	図面名 仮設計画図(参考)	
株式会社 池澤設計					一級建築士事務所 栃木県知事登録 (A^ ) 1864 号						
					一級建築士 建設大臣登録 165937 号						
栃木県宇都宮市北若松原 2 丁目 1 1 番 1 9 号					TEL 028(655)3723	池澤 達夫					
(鹿沼事務所) 鹿沼市上永野 2 1 7 - 1					TEL 0289(84)0252						